



国際ロータリー第 2640 地区

2024-2025 年度のための
地区研修・協議会

2024-2025 年度 ガバナー 野村 壮吾



[2024. 4 .21 和歌山大学]



目次

地区研修・協議会プログラム	1
部門別協議会一覧	2
2024-2025 年度 RI 会長紹介	3
2024-2025 年度 RI 会長挨拶	4
2024-2025 年度 ガバナー略歴	8
2024-2025 年度 ガバナーエレクト略歴	9
2024-2025 年度のための地区研修・協議会に際して 2023-2024 年度ガバナー 谷 宗光	10
次年度のための地区研修・協議会の目的について 次年度地区ラーニングファシリテーター 豊岡 敬	11
2024-2025 年度 ガバナー基本方 2024-2025 年度ガバナー 野村 壮吾	12
2024-2025 年度 ロータリー財団年次基金及び米山記念奨学会への寄付目標額(案)	18
2024-2025 年度 地区資金分担金(案)	19
ロータリーのビジョン声明	21
ロータリーの中核的価値観	22
2024-2025 年度 クラブ会長・幹事一覧	23
2024-2025 年度 分区区分とガバナー補佐	24
2024-2025 年度 地区幹事別担当委員会	25
2024-2025 年度 主要行事予定表	26
2024-2025 年度 クラブ周年行事予定表	27
2024-2025 年度 ガバナー公式訪問日程表	28
2024-2025 年度 地区組織図	31
2024-2025 年度 委員会組織表(案)	32
2024-2025 年度 収支予算書(案)	33
三年度分収支予算書一覧表	34
ガバナー事務所経費に関する内訳一覧表	35
地区予算検討資料 (過年度分収支一覧表・ガバナー事務所経費に関する過年度内訳一覧表・2021-2022 年度末特別会計内訳)	36
2024-2025 年度 ロータリー賞	39
2024-2025 年度 意義ある奉仕賞(旧意義ある業績賞)	40
2024-2025 年度 主要報告書ならびに送金先一覧	41
部門別／委員会別協議会資料 ■会長部門 ■幹事、IT、RLI 部門 ■情報規定部門 ■社会奉仕、職業奉仕 部門 ■(社会奉仕)青少年関連部門 ■会員増強・維持・公共イメージ 部門 ■国際奉仕、ロータリー財団 部門 ■米山記念奨学部門	42
その他委員会資料	69
●地区戦略計画委員会 ●危機管理委員会 ●オンツリー・カルガリー委員会	
その他資料	
和歌山大学会場案内図	91
2024-2025 年度 国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所ご案内	



国際ロータリー第2640地区
2024-2025年度のための



地区研修・協議会プログラム

9:30 登録受付

＜全体協議会＞

(敬称略)

10:00	開会 開会点鐘 国歌・奉仕の理想 斉唱 ガバナー・パストガバナー・ガバナーノミニー 次年度地区ラーニングファシリテーター・次年度ガバナー補佐 次年度地区幹事チーム・次年度地区委員長 紹介	司会：次年度代表幹事 ガバナーエレクト	豊田泰史 野村壮吾
	開会挨拶 ガバナー挨拶 地区研修・協議会の目的について	ガバナーエレクト ガバナーエレクト ガバナー	野村壮吾 野村壮吾 谷 宗光
10:35	「地区組織の運営について」	次年度ラーニングファシリテーター 情報規定委員会委員長	豊岡 敬 岡本 浩
11:10	国際協議会報告 ・2024-2025年度 RI テーマ 「ロータリーのマジック」 2024-2025年度ガバナー基本方針について	ガバナーエレクト ガバナーエレクト	野村壮吾 野村壮吾
11:40	次年度予算(案)について	ガバナーエレクト	野村壮吾
11:55	次年度地区行事案内および連絡事項	次年度代表幹事	豊田泰史

12:00

＜昼食＞

13:20 ⇒部門別協議会会場に集合 【2 ページ参照】

＜部門別協議会＞

13:30 開会
14:20 閉会 ⇒全体協議会会場に集合

＜全体協議会＞

14:30	部門別協議会報告 オンツー・カルガリーならびに地区大会のご案内	各部門担当者 オンツー・カルガリー委員会委員長 次年度地区大会実行委員会委員長	堀井 明 橋本忠美
15:30	講 評	次年度ラーニングファシリテーター	豊岡 敬
15:45	謝辞ならびに閉会の言葉	ガバナーエレクト	野村壮吾
16:00	閉会点鐘	ガバナーエレクト	野村壮吾

部門別協議会一覧表

部 門	担 当	会 場
会 長	次年度ラーニングファシリテーター(PDG) 豊岡 敬 ガバナー 谷 宗光 パストガバナー ガバナーエレクト ☆ 野村 壮吾 ガバナーノミニー 北野 治義 次年度ガバナー補佐 菅根 清・神出勝治・柏原康文 岡本弥生・浅岡善彦・庄司基公 久保忠生・高松慶暢 次年度財務委員会委員長 高松 慶暢 次年度ローターアクト代表	東1号館 1階 E1-103
幹 事 R L I I T	次年度代表幹事 ☆ 豊田 泰史 次年度RLI委員会委員長 濱田 雅嘉 次年度IT・ガバナー月信委員会委員長 石橋 英二	東1号館 1階 E1-101
情報規定	次年度情報規定委員会委員長(PDG) ☆ 岡本 浩	東1号館 2階 E1-203
社会奉仕 職業奉仕	次年度地域社会奉仕委員会委員長 ☆ 上野山栄作 次年度職業奉仕委員会委員長 細川 幸三	西2号館 3階 E-301
(社会奉仕) 青少年関連	次年度青少年奉仕委員会委員長 ☆ 岡本 弥生 次年度青少年交換委員会委員長(PDG) 豊岡 敬 次年度インターアクト委員会委員長 坂東 剛	西2号館 2階 E-201
会員増強・維持 雑誌・公共イメージ	次年度会員増強委員会委員長 ☆ 末吉 亜矢 次年度公共イメージ委員会委員長 柘植 義信	西2号館 3階 E-302
国際奉仕 ロータリー財団	次年度ロータリー財団委員会委員長(PDG) ☆ 谷 宗光 および小委員会委員長 次年度国際奉仕委員会委員長 古谷 典子	東1号館 1階 E1-102
米山記念奨学	次年度米山記念奨学委員会委員長 ☆ 三木 菊夫	東1号館 2階 E1-205

(注) ☆印は責任者です。

(注) 幹事は担当する委員会とともに部門別協議会の運営を行います。

(注) 責任者のもとで部門別協議会に講師を設けることがあります。

2024-2025 年度 RI 会長紹介



ステファニー A. アーチック

2024-25 年度会長

マクマリー・ロータリークラブ所属

米国ペンシルバニア州、

アーチック氏は、コンサルティングと研修を専門とする Doctors at Work LLC 社の共同経営者兼最高執行責任者です。ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ学の博士号を取得。地域社会で数々の団体の理事を務め、Zonta International や Sons of the American Revolution といった団体から表彰されています。

1991 年にロータリー入会。ベトナムに赴いて小学校建設を援助したほか、ドミニカ共和国では浄水フィルタの設置を援助。複数のスラブ系言語を学び、ウクライナの新ロータリアンへのメンタリングやポーランドでのロータリー財団補助金プロジェクトの調整役もこなしました。

ロータリーでは、理事、財団管理委員、RI 戦略計画委員長、財団 100 周年祝賀委員長を歴任。現在は選挙審査委員会と運営審査委員会の委員を務めています。ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員。

国際協議会 2024-2025 年度
テーマ講演

ステファニー A. アーチック 国際ロータリー会長エレクト 2024 年 1 月 8 日



ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム (the Irresistibles) である 2024-25年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族)と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ありがたいことに、活動をしやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック（魔法）が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にありま。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画はクラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなので、そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェローシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップを提供します。これまでに1,800人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在140カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団 (Otto and Fran Walter Foundation) からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシエヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは2025年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025年2月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？ では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、**私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」**です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女兒の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

ガバナー略歴



氏名 野村 壮吾 (のむら そうご)
クラブ 和歌山南ロータリークラブ
生年月日 1959年1月2日

学歴 九州芸術工科大学卒
職歴 協和プレス工業株式会社 代表取締役
公職 大阪府シートメタル工業会 会長
紀の川市立地企業連絡協議会 会長
和歌山県機械金属工業協同組合 副理事長
和歌山テクノ協同組合 副理事長

ロータリー歴 1997年3月21日 和歌山南ロータリークラブ入会
2003年～2004年 地区幹事
2011年～2012年 クラブ幹事
2017年～2018年 クラブ会長

R財団寄付 メジャードナーレベル①
ベネファクター
ポールハリスソサエティ

米山寄付 米山功労者②

ガバナーエレクト略歴



氏名 **北野 治義** (きたの はるよし)

クラブ 和泉南ロータリークラブ

生年月日 1964年3月24日

学歴 大阪芸術大学卒
職歴 北野鉄工株式会社 代表取締役
公職 和泉商工会議所 常議員
和泉商工会議所 国際開発特別委員会委員長
泉大津納税協会 常任理事
和泉交通安全協会 理事

ロータリー歴

2001年1月18日 和泉南ロータリークラブ入会
～2009年6月30日, 2011年12月8日～現在
2013～2014年 クラブ会長
2021～2022年 RLI 修了
2022～2023年 第7分区ガバナー補佐
2023～2024年 第7分区ガバナー補佐
2023～2024年 シンガポールオンツアー委員

R財団寄付 ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

米山寄付 第1回米山功労者

2024-2025 年度のための

地区研修・協議会に関して



2023-2024 年度ガバナー
谷 宗光 (和泉 RC)

季節がめぐり、本日は、次年度のための「地区研修・協議会」です。

野村壮吾ガバナーエレクトを旗手に各クラブ会長エレクト、それぞれの委員長、幹事さまが先導する年度への最終申し合わせの日とも言えるでしょう。

みなさまは、すでに、ご承知のように、RI 会長エレクト・ステファニー A、アーチックさんの、年度テーマは「ロータリーのマジック」です。

それは、ハリーポッターよろしく魔法の杖を振り呪文を唱えたなら、全てが上手く行くと、言われているのでは、ありません。簡単に言えば、「ロータリアン一人一人の良い行動で、変化していくのですよ！」と示しております。

近年 RI は、基本的な考え方に、継続性（つながり）を加味させています。

これは、本年度テーマの「世界に希望を生み出そう」から来ていると、見て取れます。

そして、我らが、野村ガバナーエレクトは、基本方針に「ロータリーの原点、四つのテストを実践しよう」とされています。

私は、このテーマを聞いた時に、心が高鳴り、共感し、共鳴しました。しかし、こんなにもシンプルで、私たちの人生やロータリーライフの中の中枢にありながら、当たり前だと思いがあまり、一部のところでは、軽んじられてきたのかもしれない。今、原点を学び、思いを巡らせてもこんなに端的に指針を表すのに適したものが、あるでしょうか？私自身も、物事をシンプルに考え、シンプルに伝えたいと常々思っています。

そこに、思いやりの心があれば、くだらない諍いは、なくなります。「四つのテストの実践」は「思いやりあふれる明るく元気なロータリーへ」からの進化なのです。

その意味では、過日に開催された、PETS の際にご講演頂いた、和歌山大学名誉教授の堀内先生の講話は、（組織を活かすリーダーシップ論）ロータリアンのみならず、地域社会や企業、団体のリーダーは身に沁み込ませておかなければならないものでありました。

みなさん、四つのテストをただ唱和するだけでなく、「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」を胸にしっかりと刻み行動していこうではありませんか。私たちのロータリーライフと人生を素敵なものにするために！世界が、今日よりもっと良い未来のために！

次年度のための 地区研修・協議会の目的について



2024-2025 年度

ラーニングファシリテーター

豊岡 敬 (富田林 RC)

2021-2021 年度ガバナーを務めました富田林ロータリークラブの豊岡敬です。野村年度のラーニングファシリテーターに指名頂きました。ラーニングファシリテーターは、次期クラブリーダーと次期地区リーダーの準備にあたってガバナーエレクトを支援します。どうぞよろしくお願ひ致します。

本日開催される 2024-2025 年度に向けての地区研修・協議会は、クラブリーダーの皆さんが、リーダーシップのスキルを磨き、各自の役割について学び、次年度の目標を立てるため、毎年開催される重要な研修の一つです。野村エレクトはご自身のガバナー年度に備えて、ガバナーノミニ時代から準備をされてきました。そうして、今年の1月7日から11日にかけて、米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加されました。国際協議会では、国際ロータリー会長エレクトから年度テーマと方針の発表があります。これを踏まえて、ガバナーエレクトは、地区運営方針等を策定し、下記の3つの研修会を通じクラブリーダーや地区リーダーと次年度の RI テーマ、地区運営方針を共有していきます。

①地区チーム研修セミナー (2月または3月)

次年度ガバナーによる次年度地区役員への研修

②会長エレクト研修 (PETS)

次年度各クラブ会長に次年度ガバナーから RI 会長方針と地区ガバナー方針を伝達と研修並びに地区予算の検討

③地区研修・協議会 (4月から5月)

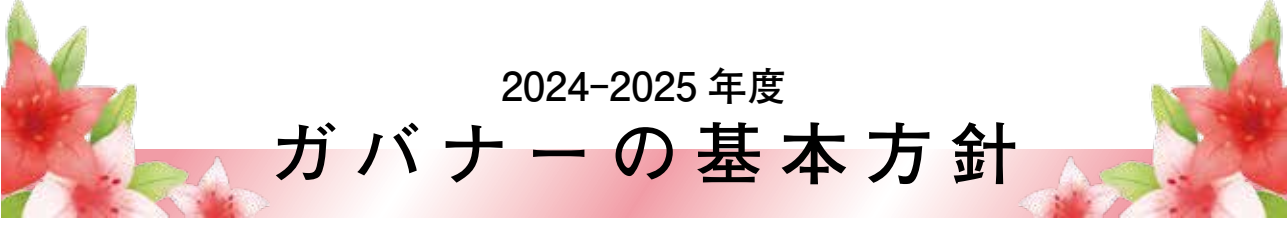
次年度各クラブの役員・部門担当者が参集して次年度に向けての研修

以上が次年度に向けての三大研修と位置付けられています。

本日開催されている地区研修・協議会は、先行する地区チーム研修、会長エレクト研修の成果を踏まえ次年度に向かう地区内研修の総仕上げの位置づけになっています。地区研修・協議会においては、会長・幹事部門の墓、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕といったロータリー活動における各部門の研修に加え、青少年奉仕・米山といった委員会部門に分かれ、次年度の方針・計画等を研修・協議頂くこととなります。

この協議会の次年度における位置づけ・意味をしっかりとご確認頂き、RI 会長方針・当地区ガバナー方針をしっかりとご理解頂くと共に、各担当部門の次期活動方針について研修と協議をして頂くことをお願ひします。

それでは、本日の地区研修・協議会が十分な成果をあげ、来る7月1日が素晴らしい新年度のスタートとなることをお願ひ致します。



2024-2025 年度 ガバナーの基本方針

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナーエレクト 野村 壮吾

2024-2025 ガバナー基本方針 「ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう」

ロータリークラブは、1905年2月23日にアメリカのシカゴでポールP・ハリス（弁護士）が、友人のハイラムE・ショーレー（洋服生地商）、シルベスター・シール（石炭商）、ガスターバス・ローア（鉱山技師）達と、ローアの事務所でロータリー初のクラブ例会を開き設立されました。彼は多様な職業を持つ人々が集まり、アイデアを交換し、生涯にわたる友情を育むことができる場としてロータリーを設立しました。その名前「ロータリー」は、当時、各メンバーの職場を持ち回りでミーティング場所としていたことに由来します。

ロータリークラブの原点は親睦と奉仕です。会員が親睦を深め、それぞれが異業種であることを利用した集まりです。現在、ロータリーの中核的価値観として、親睦(Fellowship)、リーダーシップ (Leadership)、高潔性 (Integrity)、多様性 (Diversity)、奉仕 (Service) があげられます。

ロータリークラブの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には、以下の各項を奨励することになっています。

- ・知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- ・職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- ・ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- ・奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

これらの目的は、ロータリークラブが地域社会に永続的な変化を生み出すための基盤となっています。具体的には、人道的奉仕にも活動を広げ、さまざまな職業や文化をもつロータリー会員が日々、さまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。これらの活動は、ロータリーの目的である「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」を具現化しています

現在、ロータリークラブの国際的な組織体制は、各クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3つの柱で構成されています。これらが一体となって、世界中の地域社会に永続的な変化を生み出しています。

各クラブは、国際ロータリー（RI）の会員組織であり、RIは各クラブによって構成されています。各クラブは地元の人々や団体と協力しながら、地域に根ざして活動し、持続可能な変化を生み出します。

ロータリー財団は、各クラブの活動を支援し、その取り組みをさらに高めるための財団です。ロータリー財団は、識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリーの会員が毎日、世界のどこかで活動している支援を行います。

これらの組織体制を通じて、ロータリークラブは世界中で社会貢献を行っています。

ロータリーは以下の7つの分野に重点を置いて活動しています。

1. 平和の推進 ロータリーは平和の推進を目指しています。
これは、紛争解決の教育や平和に関するプロジェクトを通じて行われます。
2. 疾病との闘い ロータリーは、疾病の予防と治療に取り組んでいます。
これには、ワクチンの普及や健康教育などが含まれます。
3. 水と衛生の改善 ロータリーは、清潔な水の供給や衛生設備の改善に努めています。
4. 母子の健康 ロータリーは、母子の健康を支援するプロジェクトを行っています。
5. 教育の支援 ロータリーは、教育の機会を提供し、識字率を向上させる活動を行っています。
6. 地元経済の成長 ロータリーは、地元経済の成長を支援するためのプロジェクトを行っています。
7. 環境の保護 ロータリーは、環境保護に関するプロジェクトもを行っています。

これらの活動は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目指しています。

また、ロータリー財団は、これらの活動を支援するための「グローバル補助金」を提供しています。グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。具体的には、人道的プロジェクト、大学院レベルの留学奨学金、専門職業に係る研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣する活動などが含まれます。

この様に、現在のロータリーは、1905年2月23日に始まった活動から飛躍的に活動範囲が広範囲になり、また、奉仕の理念も変容してきています。しかし、変わらないものは、ロータリアンひとりひとりの奉仕に対する思い、行動では無いでしょうか？奉仕の原単位は、個人。個人の集まりがクラブ、クラブの集まりが国際ロータリーという図式は、変わらないロータリーの原点です。

その会員個人が行動を起こすときには是非チェックして欲しいのが、「四つのテスト」です。ロータリークラブの「四つのテスト」は、ロータリアンが日常生活や職業生活、さらには国際的な問題に直面した場合にも、常に意識しながら行動するための基準です。

具体的には以下の4つの質問から成り立っています。

「四つのテスト」(Four-Way Test)

言行はこれに照らしてから (Of the things we think, say or do)

1. 真実かどうか (Is it the TRUTH?)
2. みんなに公平か (Is it FAIR to all concerned?)
3. 好意と友情を深めるか (Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?)
4. みんなのためになるかどうか (Will it be BENEFICIAL to all concerned?)

(1932年7月、シカゴのロータリアン、ハーバード・J・テラーが提唱)

この「四つテスト」は、ロータリアンが自己の行動や決定を評価する際の道徳的な指針となります。また、この「四つテスト」は、ロータリークラブの基本理念の一部となっており、ロータリアンが社会貢献活動を行う際の指針ともなっています。

2024-25年度の第2640地区の基本方針は、「四つのテストを実践しよう」です。

ステファニーA.アーチック 2024-25RI 会長は、「四つのテスト」の実践で世界はよりよくなると仰っています。思いやりのある行動を取ることで、不安や落ち込んでいた心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは他者を助けることに喜びを見出します。助けられる人々、また、その周りにいる人々もこのロータリーの奉仕活動から精神的な平和を感じ、地域の平和構築推進のインパクトにつながることでしょう。

繰り返しになりますが、ロータリーの奉仕活動の原単位は、会員個人です。ひとりひとりが自身の行動を「四つのテスト」と照らし合わせながら行動することで、ロータリーの価値は向上します。個人の集まりがクラブです。「四つのテスト」を実践している個人が集まったクラブは、思いやり溢れ、地域社会の為になる奉仕活動が出来る元気なクラブに違いありません。地区の各クラブがこの行動基準を踏まえ、ロータリー活動が出来る様に支援して参ります。

各クラブのロータリー活動を支援するにあたり、地区組織の見直しをはかります。2640地区の身の丈に合った組織のスリム化、また、暗黙知化、属人化している業務、規則などの見直しをして形式知化、マニュアル化して継続性が担保されるように変革します。

また、DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) の精神を取り入れ、金太郎アメの様なクラブの集まりではなく、2640地区の多様なクラブの個性を活かすことを考えると共に新しい事へのチャレンジにも惜しみなる支援していきます。個性ある2640地区の各クラブが、互いに交流刺激し合う事で、各クラブが成長発展することを願っています。

2024-25年は、「四つのテスト」という手鏡で常に自分自身を写しながら、ロータリー活動を実践して参りましょう。

① 会員増強と退会防止

当地区には、会員数が一桁のクラブが8クラブ有ります。クラブの魅力を発信して、是非とも会員増強をお願いします。会員の増強は、DEIの観点から、多様な会員構成になることが好ましいと考えています。また、衛星クラブの設立にもチャレンジして下さい。

② 広報と公共イメージの向上

「四つのテスト」言行はこれに照らしてから、これを念頭に置きロータリーブランドの向上に努めましょう。2013年よりロータリーのロゴが変更になっています。新しいロゴを使用しましょう。

③ 分区活動

分区活動は、各クラブ間の連携により、有意義な事業が行えると考えています。また、分区会議を行っていただき、ロータリーの仲間として地域の問題に取り組んでください。

④ 地区戦略計画委員会

2024年7月1日より、国際ロータリーは「3年間の目標と地域計画」というものを推進します。これは、単年度主義のロータリー活動から継続性を重視したロータリー活動への変更を意味します。また、目標という定量的な指標を掲げ行動するように、RIは要求しています。地区内各クラブが、「ロータリークラブ・セントラル」を利用するように働きかけをお願いします。

⑤ 情報規定委員会

地区の情報規定委員会は、国際ロータリー規定審議会・決議審議会の地区窓口であり地区立法案検討会も担当します。ロータリーのあり方等に対する検討を行い、また、RI理事会での決定事項を地区内で共有し発信してください。

⑥ ロータリー財団委員会

広く地区内に寄付を呼びかけ、ゼロクラブゼロを目指します。また、財団の補助金活用もPRして各クラブの奉仕活動に役立てて頂きたいと考えます。

年次基金寄付1人あたり目標 180ドル

⑦ 社会奉仕委員会

地区主催の社会奉仕事業では無く、各クラブが地域社会に即した奉仕活動を実践出来る様なヒントを与える活動をして下さい。各クラブは、「四つのテスト」と照らし合わせて、地域の為になる活動を行って下さい。各クラブの社会奉仕の事例は、ロータリーショーケースにアップして下さい。優れた社会奉仕事業は、「意義のある奉仕賞」の対象になります。

⑧ 国際奉仕委員会

ロータリーの 7 つの重点分野を意識して、ロータリー財団の補助金も活用しながら、世界で必要とされるプロジェクトに取り組むよう、地区内各クラブに働きかけをお願いします。

⑨ 青少年交換委員会

マニュアル化しにくい活動ではありますが、地区の実情を踏まえ、身の丈にあった活動を行っていきたいと考えています。今後も事業が継続するように属人化の脱却を図りたいと思います。

⑩ 米山記念奨学委員会

米山記念奨学生への支援については、大きく見直しを図ります。まず、奨学生の本分は自身の学業に集中して、将来を担う人間に成長することです。地区として、各クラブに奨学生を卓話派遣は行いません。

⑪ ローターアクトクラブ委員会

ローターアクトクラブは、RI の構成要素となり各クラブと同じような位置づけです。しかしながら、当地区においては、まだまだロータリークラブがローターアクトクラブを支援しているのが実情です。今後、ローターアクトクラブが自立していくための強化策について協議検討を行っていきます。

⑫ インターアクトクラブ委員会

2640 地区には、インターアクトクラブが 13 クラブあります。地区内の青少年に対して、ロータリーの奉仕の精神を学び、彼ら自身を人間的に成長させる事業をお願いします。今年も昨年同様、国内の出来事に目を向け事業の企画をお願いいたします。

⑬ 学友委員会

ロータリーが支援した若者達と継続的に連絡をとり、ロータリーの魅力を伝え、将来のロータリアンとなる人物として育成支援をお願いします。そのためには、過去の好事例をロータリアンや学友の皆さんと共有したいと考えています。

⑭ RLI 委員会

次世代のリーダーの育成は、クラブにおいても地区においても重要です。地区では、次世代リーダー育成の為に RLI を開催いたします。これからクラブ会長や幹事に就く方には是非 RLI の受講をおすすめします。

⑮ IT・ガバナー月信委員会

ガバナー月信には、地区内のクラブ事業の紹介をいたします。月信を通して、地区内の各クラブの奉仕活動を地区ロータリアンが共有して下さい。また、MY ROTARY への登録を促し、会員の皆さんの積極的な MY ROTARY の活用をお願いします。

会員の皆さんの積極的な MY ROTARY の活用をお願いします。

⑯ 予算

森本年度の決算書が未提出という異常な状態が続いており、予算を立てるのに苦労していますが、会員減少など地区財政が厳しいことを踏まえて、緊縮財政で臨みます。

⑰ 地区大会

2024年11月16日（土）、17日（日）りんくうタウン駅直結のスターゲイトホテル関西空港で開催いたします。また、記念ゴルフ大会は、2024年10月16日（火）関西空港ゴルフクラブにて開催いたします。

⑱ オンツー・カルガリー

2025年の世界大会は、2025年6月21日（土）～25日（水）カナダのカルガリーで開催されます。少し離れていますが、皆さんの参加をお願いします。世界のロータリアンが一同に集合します、世界のロータリーを感じるまたと無い機会です。

⑲ 「3-year targets」について

2024年7月より、国際ロータリーは、各クラブ、地区に対して3年間の戦略計画を策定することを推奨します。よって、各クラブは、次年度の目標をクラブセントラルに入力すると共に「3-year targets」3年間の戦略計画の策定をお願いします。

⑳ My ROTARY の活用推進

My ROTARY は、ロータリーの各種情報が一覧できる貴重な情報源です。クラブ会員の皆さんがこれを登録し、閲覧することによって最新のロータリーが理解できます。昨年に引き続き、地区の登録率目標を88%とします。

2024-2025 年度

ロータリー財団年次基金及び 米山記念奨学会への寄付目標額（案）

1. ロータリー財団年次基金寄付

ロータリー財団寄付金について、今年度と同額の目標額とさせていただきますので、各クラブのご理解とご協力をお願い致します。

一人当たり 年次基金寄付 : 180ドル
ポリオ・プラス基金寄付 : 30ドル

2. 米山記念奨学会への寄付

米山記念奨学会寄付金について、今年度と同額の目標額とさせていただきますので、各クラブのご理解とご協力をお願い致します。

一人当たり 普通寄付 : 6,000円
特別寄付 : 10,000円

2024-2025 年度

地区資金分担金（案）

1 地区賦課金

会員一人当たり 20,000円

上半期（7月1日）10,000円

（7月2日～12月31日入会者10,000円）

下半期（1月1日）10,000円

（1月2日～6月30日入会者10,000円）

2 地区大会賦課金

会員一人当たり 6,000円（7月1日）

3 地区大会登録料

参加者一人当たり 3,000円

（参考）

地区会員数を1,550名として、予算収入に計上しています。



国際ロータリー第2640地区 地区ビジョン

地区ビジョンについて

- 国際ロータリー第2640地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を展開します。
- 国際ロータリー第2640地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。
- 国際ロータリー第2640地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で、個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区中期3か年目標

(2019-2020年度策定、2020-21年度、2021-2022年度、2022-23年度)

1、クラブの会員基盤の向上に対する支援強化

- ・各クラブの戦略計画（中長期計画）作成を推奨します。
- ・地区内会員数について、各クラブと協力し、1,700人を超えるよう努力します。
- ・地区内には、ロータリークラブのない市町村もあります。クラブ拡大の可能性を検討します。
- ・各クラブの個性を尊重しつつも、会員の多様性に配慮するように推奨します（幅広い年齢層と女性比率の向上）。
- ・ローターアクトクラブの接点を増やします。

2、人道的奉仕の重点化と財団利用の推進

- ・公共イメージの向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- ・ロータリー財団利用実績を年間40件の目標とします。
- ・ロータリー財団及び米山記念奨学金への寄付を推進すると共に、寄付ゼロクラブがないように協力体制を敷きます。

3、公共イメージの向上とデジタル化の推進

- ・公共イメージの向上のため、地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識して、ロータリー・デー等市民向け事業を推奨します。
- ・社会への露出を促すため、メディア対応を改善します。
- ・デジタル化の推進のため、「My Rotary」の登録率を65%に目標設定します。
- ・デジタル化の推進とデータ活用のために、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブすべてが行えるようにします。

4、R Iの多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）へのコミットメント へ賛同して推進します。

私たちは、あらゆるロータリー活動において

「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を受容し行動で示します。

5、変革する社会に対応し、ロータリーの基本価値を共有するRLIの推進

2640地区 RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)は質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するため、将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供します。
クラブ会長、幹事、会長エレクト、次年度幹事のRLI受講を推進します。

ロータリーのビジョン声明



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きなインパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/ja/strategicplan

2024-2025 年度 会長・幹事 氏名一覽

分区	クラブ名	会長名	幹事名
1	串本	矢倉甚兵衛	鎌田 俊彦
	那智勝浦	松下裕次郎	山田 善清
	新宮	永野 大伸	日比野栄吉
	白浜	北 裕喜彦	津多 定
	田辺	瀬戸 英男	住山 康臣
	田辺東	渡口 眞二	森本 修至
	田辺はまゆう	中峰千世子	坂本 恵子
2	有田	中村 吉伸	菅原 佳典
	有田南	塩路 信兼	中尾 正廣
	有田2000	前 任	寺村 公博
	御坊	宮所忠喜	小池正幸
	御坊東	山本 敦弘	尾崎 達哉
	御坊南	古谷 恭子	楠本 勝彦
	海南	三上 秀信	名手 聡
	海南東	田岡 郁敏	楠部 均
海南西	松浦 まゆみ	岩崎 利明	
3	和歌山	野井 和重	松井 良樹
	和歌山アゼリア	西出 隆一	安宅 浩一
	和歌山東	片岡 聖佳	栗本 信行
	和歌山城南	堂西 誠治	山縣 好希
	和歌山中	久保 邦臣	林 正
	和歌山北	田邊 昌也	東山 充
	和歌山南	岩本 研	岩橋 一博
	和歌山東南	赤在 依美	中岡 隆文
和歌山西	中條 剛司	石塚 宏介	
4	橋本	後藤 清	奥野 孝
	岩出	石本 浩	戸口 茂幸
	河内長野高野街道	梶野 行良	岡本 弥生
	粉河	牛丸 和一	澤田 雅之
	高野山	平田永一郎	前 清

ガバナー預かり		
ワールド大阪ロータリークラブ		

分区	クラブ名	会長名	幹事名
5	羽曳野	黒川 健三	八尾 清隆
	河内長野	山崎 規男	阿部 智彦
	河内長野東	畠山 隆雄	岩本憲一郎
	松原	楠原 正之	岡田 安司
	松原中	北山 明伸	中原 智
	美原	脇田 裕行	泉並 正
	大阪狭山	北中 登一	吉川 寿一
	太子	村元 宏	益田 直樹
	富田林	坂ノ上 卓也	千福 許史
6	泉佐野	南 慎一	谷口 文彦
	貝塚	島原 隆夫	山口 昭治
	貝塚コスモス	澤田 秀男	田端 隆彦
	関西国際空港	堀 信一	渡邊 員行
	岸和田	櫻井 新嗣	岡本 良平
	岸和田東	川植 康史	泉本 真宏
	岸和田南	藪 秀則	雪本 孝彰
	KUMATORI向日葵	番匠 博	中楠 真一
りんくう泉佐野	町谷 謙一	中川 公彦	
7	羽衣	納谷 政志	松本 博亮
	和泉	遠藤 裕康	濱田 雅嘉
	泉大津	渡辺 万寿	根尾 玲子
	和泉南	杉本 太平	廣瀬 詩織
	大阪金剛	酒谷 敏康	栗栖 俊雄
	高石	嶋田 充伸	中山 力
	高師浜	下條 明	奥田 康司
	堺	石崎 雅也	西座 新二
8	堺東	竹山 修身	宮園 文清
	堺泉ヶ丘	谷口 誠乙	池尾 弘久
	堺中	間下 敦司	大西 耕治
	堺北	畑中 一辰	藤永 誉
	堺おおいずみ	多田 憲史	植木 洋子
	堺フェニックス	壽 孝博	仲峯 豊
	堺清陵	井上阿佐美	盆木 一輝

2024-2025 年度 分区区分と担当ガバナー補佐

分区	担当ガバナー補佐氏名	分区所属クラブ
1分区	菅根 清 すがね きよし 田辺はまゆうロータリークラブ	 串本・那智勝浦・新宮 白浜・田辺 田辺東・田辺はまゆう
2分区	神出 勝治 じん で かつじ 海南西ロータリークラブ	 有田・有田南・有田2000 御坊・御坊東・御坊南 海南・海南東・海南西
3分区	柏原 康文 かしはら やすふみ 和歌山城南ロータリークラブ	 和歌山・和歌山アゼリア・和歌山東 和歌山城南・和歌山中・和歌山北 和歌山南・和歌山東南・和歌山西
4分区	岡本 弥生 おかもと ますお 河内長野高野街道ロータリークラブ	 橋本・岩出 河内長野高野街道 粉河・高野山
5分区	浅岡 善彦 あさおか よしひこ 太子ロータリークラブ	 羽曳野・河内長野・河内長野東・松原 松原中・美原・大阪狭山・太子 富田林
6分区	庄司 基公 しょうじ もとひろ 泉佐野ロータリークラブ	 泉佐野・貝塚・貝塚コスモス 関西国際空港・岸和田・岸和田東・岸和田南 KUMATORI向日葵・りんくう泉佐野
7分区	久保 忠生 くぼ ただお 和泉ロータリークラブ	 羽衣・和泉・泉大津 和泉南・大阪金剛 高石・高師浜
8分区	高松 慶暢 たかまつ のりかど 堺東ロータリークラブ	 堺・堺東・堺泉ヶ丘 堺中・堺北・堺おおいずみ 堺フェニックス・堺清陵

2024-2025 年度 地区幹事別担当委員会

役職・氏名・担当		役職・氏名・担当	
代表幹事 豊田 泰史 和歌山南ロータリークラブ 事務局統括、危機管理、情報規定、 その他事業全般		幹事 村田 弘至 和歌山ロータリークラブ I T ・ ガバナー月信、R L I	
副代表幹事 三木 菊夫 和歌山南ロータリークラブ 米山記念奨学		幹事 伊藤 弘昭 和泉南ロータリークラブ 職業奉仕	
副代表幹事 嘉手納良和 和泉南ロータリークラブ 社会奉仕・会員増強		幹事 大宅 孝治 和泉南ロータリークラブ 米山記念奨学	
幹事 岡崎 全雄 和歌山南ロータリークラブ 公共イメージ、地区大会		幹事 合田 研吾 和泉南ロータリークラブ 地域社会奉仕	
幹事 海堀 崇 和歌山南ロータリークラブ 青少年奉仕、青少年交換		幹事 滝口 学 和泉南ロータリークラブ 地域社会奉仕	
幹事 坂本 光文 岸和田東ロータリークラブ インターアクト		幹事 髭 奉昭 和泉南ロータリークラブ 職業奉仕	
幹事 木綿 紀文 和歌山ロータリークラブ 国際奉仕、ロータリー財団			

2024-2025 年度 主要行事予定表

2024年

開催日			行事	時間	開催場所	備考
2月	11	日	地区チーム研修セミナー	13:15~16:30	ホテルグランヴィア和歌山	
3月	10	日	PETS(会長エレクト研修セミナー)	11:00~17:00	ホテルアバローム紀の国	
4月	21	日	地区研修・協議会	未定	和歌山大学	
10月	16	水	地区大会記念ゴルフ大会	終日	関西空港ゴルフクラブ	
11月	16	土	地区大会	終日	スターゲイトホテル	
	17	日	地区大会	終日	スターゲイトホテル	

2025年

開催日			行事	時間	開催場所	備考
6月	21	土	国際大会 (~25日)	終日	カルガリー	

2024-2025 年度 クラブ周年行事予定表

クラブ名	日 時	行 事 名	場 所
貝塚コスモスRC	2024年9月28日	創立30周年記念式典	スターゲイトホテル関西エアポート
堺おおいずみRC	2024年10月25日	創立40周年記念式典・祝賀会	芦屋ベイコート
河内長野東RC	2024年11月上旬	創立50周年記念例会	観心寺
海南東RC	2025年1月19日 or26日	創立50周年記念式典・記念例会	和歌山マリーナシティホテル
和泉南RC	2025年2月15日	創立40周年記念式典・祝賀会	帝国ホテル
串本RC	2025年5月17日	創立50周年記念例会	M's café (例会場の隣のレストラン)
和歌山西RC	2025年5月中旬	創立50周年記念例会	未定
松原RC	未定	創立60周年	未定
松原中RC	未定	創立35周年	未定

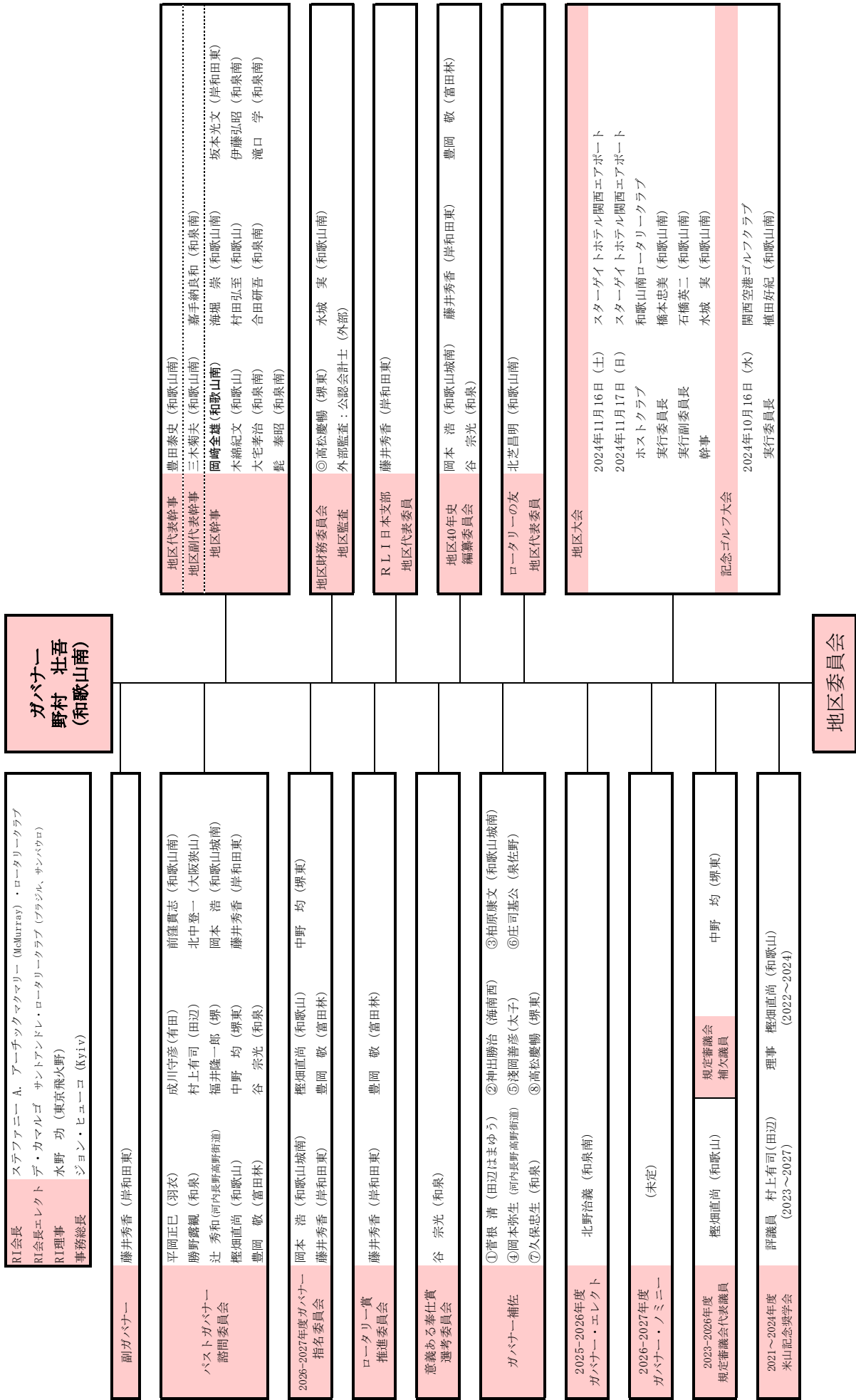
2024-2025 年度 ガバナー公式訪問日程表

公式訪問予定日			クラブ名	会長・幹事 懇談会 時間	例会時間	例 会 場
月	日	曜日				
7	24	水	和泉	11:30	12:30	うお健ビル3F
	25	木	富田林	11:30	12:30	グランドホテル二葉
			岸和田南	18:00	19:00	岸和田南RC事務所
	26	金	泉大津	11:30	12:30	ホテルレイクアルスター
	27	土				
	28	日				
	29	月				
8	30	火	御坊南	11:30	12:30	御坊商工会館3F
			田辺はまゆう	17:30	18:30	闘鶏神社会館
	31	水	有田2000	18:00	19:00	吉備インターゴルフセンター
	1	木	那智勝浦	11:30	12:30	ホテル サンライズ勝浦
	2	金				
	3	土				
	4	日				
	5	月	和歌山アゼリア	11:30	12:30	アバローム紀の国
	6	火				
	7	水	田辺東	11:30	12:30	きのくに信用金庫 田辺支店3F
	8	木	高師浜	11:30	12:30	高石商工会議所3F
			大阪金剛	18:00	19:00	櫻本病院5F
	9	金	和歌山中	18:00	19:00	ダイワロイネットホテル和歌山3F サンクシェール内「ルミエール」
	10	土				
	11	日				
	12	月				
	13	火				
	14	水				
	15	木				
	16	金				
	17	土				
	18	日				
	19	月	海南東	11:30	12:30	海南商工会議所4F
	20	火	松原	11:30	12:30	松原商工会議所会館4F
	21	水	岸和田	11:30	12:30	岸和田市立浪切ホール
			りんくう泉佐野	17:30	18:30	関西エアポートワシントンホテル3F
	22	木	有田	11:30	12:30	紀州有田商工会議所6F
	23	金				
	24	土				
	25	日				
	26	月				
27	火	和歌山	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル和歌山4F	
28	水	貝塚コスモス	11:30	12:30	産業文化会館1F メインホール	
29	木	堺中	17:30	18:30	アンジェリカ・ノートルダム	
30	金	美原	11:30	12:30	ウッドリウム大阪2F 大会議室	
31	土					
9	1	日				
	2	月				
	3	火	関西国際空港	11:30	12:30	ホテル日航関西空港11F 「ジェットストリーム」
	4	水				
	5	木	和歌山東	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル和歌山4F
			和歌山城南	17:30	18:30	アバローム紀の国
	6	金	御坊	11:30	12:30	御坊商工会館4F
	7	土				
8	日					

公式訪問予定日			クラブ名	会長・幹事 懇談会 時間	例会時間	例 会 場	
月	日	曜日					
9	9	月					
	10	火	高石	11:30	12:30	南海グリン天兆閣別館4F「ローズ」	
	11	水	和歌山西	11:30	12:30	サンプレストビル3F	
			和歌山東南	17:30	18:30	アパローム紀の国	
	12	木	堺	11:30	12:30	ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺 3F ガーデンコート	
			堺清陵	17:00	18:00	ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺 2F ラブリマ	
	13	金					
	14	土					
	15	日					
	16	月					
	17	火					
	18	水	粉河	11:30	12:30	紀の川市立粉河ふるさとセンター	
			松原中	17:30	18:30	松原商工会議所会館5F	
	19	木	橋本	11:30	12:30	橋本カントリークラブ内	
			大阪狭山	17:30	18:30	大阪狭山RC事務所	
	20	金					
	21	土					
	22	日					
	23	月					
	24	火					
	25	水	堺おおいずみ	11:30	12:30	堺商工会議所 3F	
			河内長野東	17:30	18:30	河内長野市商工会館3F 大会議室	
	26	木	岩出	11:30	12:30	岩出市商工会館 2F	
			羽衣	17:30	18:30	関空泉大津ワシントンホテル	
	27	金					
	28	土	30周年貝塚コスモス				
	29	日					
	30	月					
	10	1	火	兵庫	11:30	12:30	産業文化会館1Fメインホール
		2	水	羽曳野	15:00	16:00	LICはびきの2F 大会議室
3		木	田辺	11:30	12:30	ホテルハーヴェスト南紀田辺	
4		金	高野山	11:30	12:30	高野山 花菱 4F	
5		土					
6		日					
7		月					
8		火	有田南	11:30	12:30	湊浅水産物商業協同組合 2F	
			串本	17:30	18:30	旧ヒルトップ和田金（南側）	
9		水	新宮	11:30	12:30	新宮商工会議所 2F 大ホール	
			御坊東	17:30	18:30	御坊商工会館 3F	
10		木					
11		金	河内長野	11:30	12:30	河内長野市商工会館3F 大会議室	
12		土					
13		日					
14		月					
15		火					
16		水	地区大会記念ゴルフ大会				
17		木					
18		金	堺北	11:30	12:30	南海グリン天兆閣別館4F「ローズ」	
19		土					
20		日					
21		月					
22		火					
23		水	海南	11:30	12:30	海南市名高504-1	
24	木	海南西	18:00	19:00	海南商工会議所 4F		
25	金	白浜	11:30	12:30	白浜町商工会 3F		

公式訪問予定日			クラブ名	会長・幹事 懇談会 時間	例会時間	例 会 場
月	日	曜日				
10	26	土				
	27	日				
	28	月	太子	18:30	19:30	富田林納税協会ビル2F
	29	火	堺東	11:30	12:30	堺商工会議所 2F
			堺泉ヶ丘	17:30	18:30	サンパレス
	30	水				
	31	木	河内長野高野街道	18:00	19:00	河内長野市キックス3F会議室2
11	1	金	岸和田東	12:00	13:00	岸和田グランドホール
	2	土				
	3	日				
	4	月				
	5	火				
	6	水				
	7	木	泉佐野	11:30	12:30	泉佐野商工会議所
			和泉南	17:30	18:30	ホテルレイクアルスター
	8	金				
	9	土				
	10	日				
	11	月				
	12	火				
	13	水				
	14	木				
	15	金				
	16	土	地区大会			
	17	日	地区大会			
	18	月				
	19	火				
	20	水				
	21	木				
22	金					
23	土	KUMATORI向日葵	11:00	12:00	泉南郡熊取町五門東4丁目3-3	
		堺フェニックス	17:00	18:00	堺東備徳 堺市堺区北花田口町1-1-23	
24	日					
25	月	和歌山北	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル和歌山4F	
26	火					
27	水					
28	木					
29	金	和歌山南	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル和歌山4F	
30	土					
12	1	日				
	2	月				
	3	火				
	4	水				
	5	木				
	6	金				
	7	土				
	8	日				
	9	月				
	10	火				
	11	水				
	12	木				
	13	金				
	14	土				
	15	日				

2024-2025年度 国際ロータリー 第2640地区 組織図

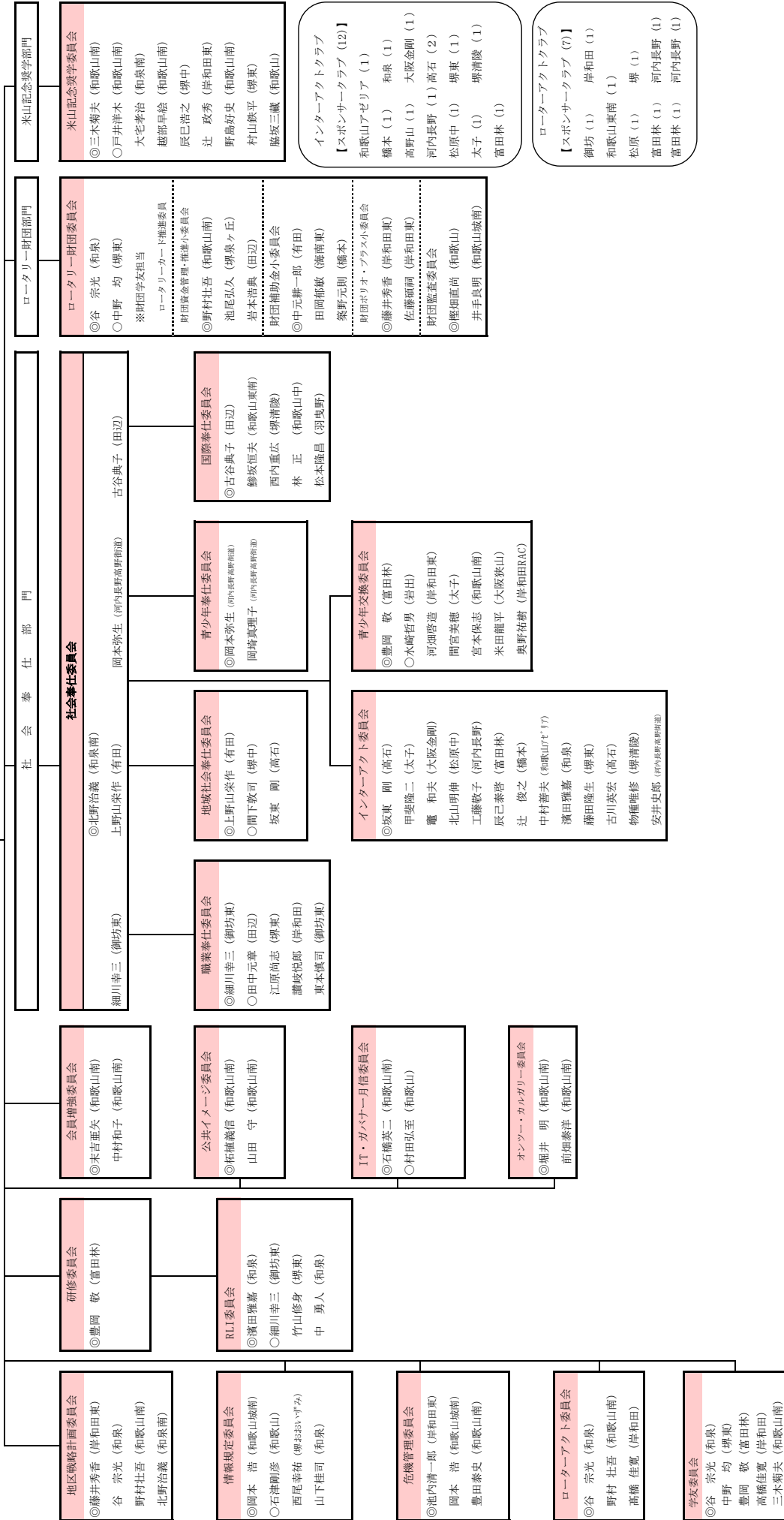


2024-2025年度 国際ロータリー第2640地区 委員会組織表

ガバナー 野村 壮吾 (和歌山南)

◎委員長

◎委員長



国際ロータリー第2640地区 2024～2025年度 収支予算書 (案)

R6.1.29現在 1,558人

収入の部	24～25予算額	摘要
前年度繰越金	40,000,000	
R I 交付金	1,634,331	
地区賦課金	31,000,000	20,000円×1,550人
地区大会賦課金	9,300,000	6,000円×1,550人
合 計	81,934,331	

支出の部	24～25予算額	
委員会関連	2,960,000	
諮問委員会	100,000	
ガバナー指名委員会	50,000	
R I 会長賞・意義ある業績賞選考委員会	10,000	
情報規定委員会	300,000	
危機管理委員会	1,000,000	
会員増強・維持女性活躍・推進委員会	300,000	
雑誌・公共イメージ委員会	240,000	
IT・ガバナー月信委員会	160,000	
R L I 委員会	500,000	
地区40年史編纂委員会	200,000	
学友委員会	100,000	
国際奉仕関連	3,300,000	
国際奉仕委員会	100,000	
青少年交換委員会	3,200,000	600,000円×5人+委員会費
社会奉仕関連	4,900,000	
地域社会奉仕委員会	300,000	
職業奉仕委員会	200,000	
青少年奉仕委員会	2,000,000	
インター・アクト委員会	2,000,000	
ローター・アクト委員会	400,000	他地区との合同会議(和歌山)
ロータリー財団関連	160,000	
ロータリー財団委員会	160,000	
米山関連	200,000	
米山記念奨学委員会	200,000	
会議費	790,000	
ガバナー連絡会議(登録料・交通費)	240,000	
ガバナー補佐・幹事合同会議	350,000	
会長会議・立法案検討会	200,000	
各種補助・協力金	12,658,250	
ロータリー文庫協力金	465,000	@300円×1,550人
ガバナー会協力金	310,000	@200円×1,550人
国際平和学生支援協力金	23,250	@15円×1,550人
GE国際協議会参加補助金	500,000	
GE国際大会参加補助金	0	
DG国際大会参加補助金	0	
規定審議会参加補助金	500,000	
RIJYEM維持協力金	310,000	@200円×1,550人
RIJYEM賠償責任保険	150,000	
新会員の集い	300,000	
米山梅吉記念館寄付金	0	各クラブより直接送金
地区大会補助金	9,300,000	地区大会賦課金
交通費・登録料等補助金	800,000	
地区誌編纂費用引当金	500,000	
地区誌編纂費用引当金	500,000	
地区災害救助基金引当金	10,000,000	
地区災害救助基金引当金	10,000,000	
各種	29,000,000	
直前ガバナー記念品	100,000	
ガバナー月信印刷費	400,000	7月号のみ
ガバナー月信データ・HP作成・維持管理費	1,200,000	@100,000×12ヵ月
事務所経費	15,000,000	
新クラブ設立費	300,000	
ガバナーエレクト事務所開設準備金	7,000,000	(地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会費を含む)
予備費	5,000,000	
次年度繰越金	17,466,081	
合 計	81,934,331	

三年度 収支予算書一覧表

収入の部		22～23予算額	23～24予算額	24～25予算額	前年度との差額	摘要
前年度繰越金		3,204,500	28,000,000	40,000,000	12,000,000	
R I 交付金		1,512,825	1,453,660	1,634,331	180,671	
地区賦課金		32,000,000	31,000,000	31,000,000	0	20,000円×1,550人
地区大会賦課金		9,600,000	9,300,000	9,300,000	0	6,000円×1,550人
合 計		46,317,325	69,753,660	81,934,331	12,180,671	
支出の部		22～23予算額	23～24予算額	24～25予算額	前年度との差額	
委員会関連		1,730,000	1,450,000	2,960,000	1,510,000	
諮問委員会		100,000	80,000	100,000	20,000	
ガバナー指名委員会		20,000	20,000	50,000	30,000	
R I 会長賞・意義ある業績賞選考委員会		10,000	10,000	10,000	0	
情報規定委員会		100,000	80,000	300,000	220,000	
危機管理委員会				1,000,000	1,000,000	
会員増強・維持女性活躍・推進委員会		300,000	300,000	300,000	0	
雑誌・公共イメージ委員会		300,000	240,000	240,000	0	
IT・ガバナー月信委員会		200,000	160,000	160,000	0	
RLI委員会		500,000	400,000	500,000	100,000	
地区40周年史編纂委員会		100,000	80,000	200,000	120,000	
ロータリー学友委員会		100,000	80,000	100,000	20,000	
国際奉仕関連		370,000	2,140,000	3,300,000	1,160,000	
国際奉仕委員会		50,000	40,000	100,000	60,000	
青少年交換委員会		320,000	2,100,000	3,200,000	1,100,000	600,000円×5人+委員会費
社会奉仕関連		3,500,000	3,780,000	4,900,000	1,120,000	
地域社会奉仕委員会		100,000	80,000	300,000	220,000	
職業奉仕委員会		100,000	200,000	200,000	0	
青少年奉仕委員会				2,000,000	2,000,000	
インター・アクト委員会		900,000	2,000,000	2,000,000	0	
ロータリー・アクト委員会		900,000	500,000	400,000	-100,000	
青少年・RYLA委員会		1,500,000	1,000,000		-1,000,000	
ロータリー財団関連		200,000	160,000	160,000	0	
ロータリー財団委員会		50,000	40,000	160,000	120,000	
奨学金委員会(学友)		50,000	40,000		-40,000	
セミナー設営・研修費		100,000	80,000		-80,000	
米山関連		150,000	120,000	200,000	80,000	
米山記念奨学委員会		150,000	120,000	200,000	80,000	
会議費		800,000	640,000	790,000	150,000	
地区幹事会議		0			0	
ガバナー補佐会議		0			0	
会長会議		300,000	240,000	200,000	-40,000	
地区チーム研修セミナー		0			0	
PETS地区協議会等		0			0	
ガバナー連絡会議(登録料・交通費)		350,000	280,000	240,000	-40,000	
ガバナー補佐・幹事合同会議		150,000	120,000	350,000	230,000	
会長会議(ガバナー年度・エレクト年度)		0	0		0	
会長エレクト研修セミナー(PETS)		0	0		0	
地区研修・協議会		0	0		0	
各種補助・協力金		12,694,000	11,998,250	12,658,250	660,000	
ロータリー文庫協力金		480,000	465,000	465,000	0	@300円×1,550人
ガバナー会協力金		320,000	310,000	310,000	0	@200円×1,550人
国際平和学生支援協力金		24,000	23,250	23,250	0	@15円×1,550人
GE国際協議会参加補助金		500,000	500,000	500,000	0	
GE国際大会参加補助金		500,000	300,000	0	-300,000	
DG国際大会参加補助金		0	0	0	0	
規定審議会参加補助金		0	0	500,000	500,000	
RIJYEM維持協力金		320,000	310,000	310,000	0	@200円×1,550人
RIJYEM賠償責任保険		150,000	150,000	150,000	0	
新会員の集い		0	0	300,000	300,000	
米山梅吉記念館寄付金		0	0	0	0	
地区大会補助金		9,600,000	9,300,000	9,300,000	0	地区大会賦課金
交通費・登録料等補助金		800,000	640,000	800,000	160,000	
地区誌編纂費用引当金		500,000	500,000	500,000	0	
地区誌編纂費用引当金		500,000	500,000	500,000	0	
地区災害救助基金引当金				10,000,000	10,000,000	
地区災害救助基金引当金				10,000,000	10,000,000	
各種		26,373,325	24,700,000	29,000,000	4,300,000	
直前ガバナー記念品		100,000	100,000	100,000	0	
ガバナー月信印刷費		0	0	400,000	400,000	
ガバナー月信データ・HP作成・維持管理費		1,600,000	1,600,000	1,200,000	-400,000	
事務所経費		15,000,000	14,000,000	15,000,000	1,000,000	
新クラブ設立費		300,000	0	300,000	300,000	
ガバナーエレクト事務所開設準備金		8,000,000	7,000,000	7,000,000	0	地区チーム研修 PETS 地区研修・協議会含む
予備費, 仮払金, その他の収入		0	0		0	
予備費		1,373,325	2,000,000	5,000,000	3,000,000	
次年度繰越金		0	24,265,410	17,466,081	-6,799,329	
合 計		46,317,325	69,753,660	81,934,331	12,180,671	

ガバナー事務所経費に関する内訳一覧表

(単位：円)

費 目	21-22年度	22-23年度	23-24年度	24-25年度	備 考
人件費	4,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	法定福利費含む
福利厚生費	100,000	100,000	100,000	100,000	
交通費	600,000	600,000	500,000	500,000	
退職金引当金	200,000	200,000	200,000	200,000	
小計	4,900,000	5,900,000	5,800,000	5,800,000	
印刷費	500,000	700,000	700,000	700,000	
事務用品費	500,000	500,000	500,000	500,000	
通信費	500,000	500,000	400,000	400,000	
慶弔見舞金	600,000	500,000	400,000	400,000	
新聞図書費	50,000	50,000	50,000	50,000	
振込手数料	100,000	100,000	100,000	200,000	
賃借料	2,600,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	家賃、倉庫家賃、共益費、駐車場代(1台) 整備費
修繕費	0	0	0	0	
ガバナー交通費	300,000	300,000	300,000	300,000	
公式訪問交通費	300,000	300,000	300,000	300,000	
交通費(ガバナー補佐・幹事)	400,000	400,000	400,000	400,000	
水道光熱費	200,000	300,000	300,000	300,000	
運賃	200,000	200,000	100,000	200,000	郵便・宅配等
事務所雑費	200,000	200,000	200,000	200,000	
外部監査料	165,000	165,000	165,000	165,000	
支払手数料	100,000	100,000	100,000	100,000	
ロータリー用品	200,000	200,000	100,000	200,000	
その他経費	0	0	0	500,000	
予備費	3,185,000	1,785,000	1,285,000	1,485,000	
小計	10,100,000	9,100,000	8,200,000	9,200,000	
合 計	15,000,000	15,000,000	14,000,000	15,000,000	

ガバナー事務所経費に関する過年度内訳一覧表

費目	14～15年度 (社年度)	15～16年度 (社年度)	16～17年度 (補半年度)	17～18年度 (岡本年度)	18～19年度 (徳年度)	19～20年度 (中野年度)	20～21年度 (藤井年度)	21～22年度 (豊岡年度)	22～23年度 (森本年度)	23～24年度 (谷年度)	備 考
人件費	4,650,765	3,603,670	7,448,646	3,939,250	6,358,847	6,279,170	2,737,115	3,460,706		5,000,000	13～14年度については事務所借室料・駐車場代・光熱費を含む
福利厚生費 (各種保険)	143,147	53,413		52,202	0	1,764,657	387,724	318,260		100,000	18～19年度以降、賃借料に家賃・倉庫家賃・共益費・駐車場・警備費を含む
交通費				708,450	636,760	447,227	459,598	111,941		500,000	20～21年度については3人体制を予定
退職金引当金				200,000	200,000	200,000	200,000	200,000		200,000	21～22年度については2人体制を予定
印刷費	942,994	603,491		191,651	621,150	783,261	669,255	764,896		700,000	
事務用品費及び消耗品費	765,244	496,656	2,167,775	871,957	744,169	583,830	74,493	201,898		500,000	
通信費	802,295	336,852	695,926	431,239	619,857	318,418	329,701	214,168		400,000	
慶弔見舞金	917,768	750,638		510,000	250,000	150,000	182,000	319,500		400,000	
新聞図書費	20,840	15,840		4,500	0	74,562	0	765		50,000	
振込み手数料	221,194			118,368	79,164	71,450	54,699	43,065		100,000	
賃借料	1,000,000	500,000	2,419,200	0	1,634,756	2,636,900	2,713,142	2,602,908		2,800,000	
事務所警備料				162,000	0	0	0	0		0	
事務所修繕費				0	0	0	0	0		0	
修繕費	997,500	624,369		0	0	0	0	0		0	
ガバナー交通費				203,310	292,320	149,000	243,655	216,582		300,000	
ガバナー公式訪問交通費				216,080	120,840	191,300	260,261	280,320		300,000	13～14年度については宿泊費を含む
交通費	1,205,720	594,084	353,210	429,574	205,700	400,000	400,000	400,000		400,000	ガバナー補佐、幹事
レンタルサーバー費											
年次報告書				0							
水道光熱費	344,552	173,099	656,090	264,155	123,900	203,466	261,837	175,439		300,000	
運賃				0	0	146,261	54,944	79,717		100,000	郵便、宅配等
事務所雑費			267,667	310,329	160,052	95,742	259,342	156,080		200,000	
林事務所経費 (830万円特別寄付金収入米当)											
外部監査料		108,000		216,000	216,000	165,000	165,000	165,000		165,000	
支払手数料		469,828	324,432	102,600	465,259	498,600	540,150	389,108		100,000	
ロータリー用品				36,688	0	0	0	26,664		100,000	
その他経費				0	0	0	0	0		0	
予備費				200,000	0	0	0	0		1,285,000	
合計	12,012,019	8,329,940	14,332,946	9,168,353	12,728,774	15,168,844	9,992,916	10,127,017		14,000,000	

※、20～21年度、21～22年度については、予算額で記入

2021-2022年度末 特別会計内訳

	摘 要	金 額 (単位：円)
1	地区大会特別会計	8,486,287
2	地区史編纂費用引当金特別会計	7,000,000
3	退職金引当金特別会計	839,000

2024-2025 年度 ロータリー賞

ロータリー賞の達成は難しいものではありません。

- ① ロータリークラブ・セントラル
- ② 25の目標に目を通す
- ③ その中から13の目標(全目標の52%)を選ぶ
- ④ 選んだ目標を達成する
- ⑤ ロータリークラブ・セントラルで目標の達成を報告する
- ⑥ 達成を祝う！

ロータリー賞に関する留意点

- ロータリー賞の手続きは、ロータリークラブ・セントラル内で電子的に行われます。
- クラブは、丸1年(2024年7月1日～2025年6月30日)をかけてロータリー賞の達成に取り組めます。
- ロータリー賞を受賞するには、クラブではその年度を通じて正規であり、瑕疵なき(人頭分担金の未納がない)クラブでなければなりません。
- ガバナーは、ロータリー賞の各項目に向けたクラブの推挙を My Rotaryから確認できます。
- ローターアクトクラブとインターアクトクラブ対象のロータリー賞には、ロータリークラブ対象とほぼ同じ項目が含まれています。ただし、若い世代用に若干の違いが加えられています。ローターアクトとインターアクトの表彰状は PDF 形式となり、賞への推薦は提唱ロータリークラブ会長がオンラインで行います。

「意義ある奉仕賞」について

「意義ある奉仕賞」は、地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。各クラブによって実施された1つのプロジェクトのみ、本賞の受賞対象となります。各クラブ会長の皆様より、1つのプロジェクトを地区ガバナーに推薦して下さい。当地区では上限を3クラブとして、受賞クラブを決定致します。

「意義ある奉仕賞」

- 推薦者 クラブ会長
- 推薦期日 2025年5月31日
- 申請方法 オンライン(My Rotary → 会員コーナー → 各種賞・表彰)で申請します。
- 推薦要件
- クラブが地域社会の重要な課題やニーズに取り組む社会奉仕活動
 - 財政支援にとどまらず、多くのクラブ会員が直接参加した活動
 - 他のロータリークラブの活動の模範となる活動
 - 国際的な活動も含めた活動
 - 今年度を実施した活動(活動開始/完了年度が今年度でなくてもよい)
 - 1クラブ1申請に限る
 - 以前に「意義ある奉仕賞」を受賞しているプロジェクトは、本賞の対象とはなりません。

2024-2025 年度 主要報告書ならびに送金先一覧

2024.4

報告書類	報告先	参考
1.出席報告 毎月(翌月15日までは必ずお願いします 未着のクラブはblankになります)	ガバナー事務所	国際ロータリー細則 第4.080
2.クラブ報告(半期会員報告) *2015年1月以降は、クラブ請求書に変わります	My ROTARY	国際ロータリー細則 第18.020
3.クラブ業績報告 その都度	ガバナー事務所	
4.会員移動報告 その都度 (入会・退会・職業分類変更・会員身分変更)	My ROTARY	
5.公式名簿記載資料 (次期役員/事務局員の氏名) 新役員選挙後-2週間以内	My ROTARY	
6.変更届 その都度(会長・幹事・例会日・例会時間・例会場 事務所・クラブ名称・所在地)	My ROTARY	
7.クラブに関する報告、ニュース等 その他	RI日本事務局・ロータリーの友 (写)ガバナー事務所	
8.ローターアクト・インターアクト組織一覧表 及び活動計画報告 (半期報告)	ガバナー事務所	
9.(公財)ロータリー日本財団 送金明細 (毎月報告)	ロータリー日本財団(kifu@rotary.org)	
10.(公財)ロータリー米山記念奨学会 送金明細 (送金の都度報告)	(公財)ロータリー米山記念奨学会	
11.国際大会信任状証明書 (会長・幹事の署名)	ガバナーエレクト事務所 (RI指定用紙)	国際ロータリー(定款9条3節 細則第10.040.1)
12.日本語出版物の注文 (文献・資料の請求お問い合わせ)	RI日本事務局業務推進・IT室	

主要送金先

送金	送金先	振込口座			
		銀行名	預金別	口座番号	口座名義
1.人頭分担金 1人あたり \$39.25(7月1日) \$39.25(1月1日) (7月1日または1月1日の会員数) 上半期のみ規定審議会費\$1がプラスされます 中途入会者の場合: 丸々1月在籍につき月割り額 「Rotary」購読料 一部 \$12.00(7月1日)、\$12.00(1月1日) ローターアクター ・大学を拠点とするクラブ: 会員1人あたり年間 \$5 ・地域社会を拠点とするクラブ: 会員1人あたり年間 \$8 *国際ロータリーより請求書が送付されます。	RI日本事務局	三井住友銀行 新宿通支店	普通	6733244	国際ロータリー 日本事務局
2.ロータリー財団への寄付 年次基金寄付 1人あたり\$180 ポリオ・プラス \$30 *プロジェクトの返金、ネクタイ・スカーフ、慈善年金の振込先については 口座が異なる場合がありますので別途相談	公益財団法人 ロータリー 日本財団	三井住友銀行 赤羽支店	普通	3978101	公益財団法人 ロータリー日本財団
3.ロータリー米山奨学会への寄付 1人あたり 普通寄付 ¥3,000(7月1日) ¥3,000(1月1日) 特別寄付 ¥10,000	公益財団法人 ロータリー 米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店	普通	0920373	公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
4.『ロータリーの友』の購読料 半年分 ¥1,500 (税別) 雑誌を受け取った月より月割1部 ¥250 (税別) の計算で、『友』より請求書が送付されます	一般社団法人 ロータリーの友 事務所	三井住友銀行 浜松町支店	普通	7450015	一般社団法人 ロータリーの友事務所
5.地区資金 1人あたり ¥20,000 ¥10,000(7月1日会員) ¥10,000(1月1日会員) 中途入会者の場合も同額	ガバナー事務所	紀陽銀行 東和歌山支店	普通	2074379	リドニロクヨンゼロ RID2640 ガバナー 野村壮吾
6.米山梅吉記念館への寄付(任意) 1人あたり¥100					
7.地区大会賦課金 1人あたり ¥6,000(1月1日会員) 7月2日~10月31日に入会の人も11月1日に¥6,000 参加登録者は、別途¥3,000	地区大会事務所	紀陽銀行 東和歌山支店	普通	2075514	リドニロクヨンゼロチクタイカイ RID2640地区大会 ガバナー 野村壮吾



部門別 / 委員会別協議会資料

- 会長部門
- 幹事、IT、RLI 部門
- 情報規定部門
- 社会奉仕、職業奉仕 部門
- (社会奉仕)青少年関連部門
- 会員増強・公共イメージ 部門
- 国際奉仕、ロータリー財団 部門
- 米山記念奨学部門



会 長 部 門



プログラム

		ガバナーエレクト	野村 壮吾
		次年度ラーニングファシリテーター	豊岡 敬
		次年度ローターアクト委員会委員長	谷 宗光
13:20	開会挨拶	ガバナーエレクト	野村 壮吾
13:30	地区協議会事項の審議	ガバナーエレクト	野村 壮吾
	① 地区資金分担金(案)	次年度財務委員長	高松 慶暢
	② 地区予算(案)		
	クラブ会長としての心得	次年度ラーニングファシリテーター	豊岡 敬
	ローターアクト委員会の活動基本方針と活動計画について		
		次年度ローターアクト委員会委員長	谷 宗光
	報告依頼事項		
14:20	閉会挨拶	ガバナーエレクト	野村 壮吾

会 長 部 門



2024-2025 年度 ガバナー
野村 壮吾 (和歌山南 RC)

【活動基本方針】

- ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう！
ロータリーの奉仕活動の原単位は、会員個人です。ひとりひとりが自身の行動を「四つのテスト」と照らし合わせながら行動することで、ロータリーの価値は向上します。「四つのテスト」の実践を各クラブ会員に浸透するように取り組んでください。
- ロータリーの中核的価値観である、親睦 (Fellowship)、リーダーシップ (Leadership)、高潔性 (Integrity)、多様性 (Diversity)、奉仕 (Service)、について各クラブ会員に理解を促して下さい。ロータリーの中核的価値観を各クラブ員が共有し、また、そのクラブに対して帰属意識を持って多様な奉仕活動が出来る様にクラブ運営にあたって下さい。
- 国際ロータリーが取り組む七つの重点分野、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生の改善、母子の健康、教育の支援、地元経済の成長、環境の保護、について奉仕活動のプログラムを計画して下さい。
- DEI (ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン) の考え方を取り入れ、多様性を尊重し、すべてに公平で、皆が帰属意識を持って、各クラブの奉仕プロジェクトに参加するクラブ風土の醸成に努力して下さい。
- 各クラブ会員が、My ROTARY の登録を行い、その活用に努めて下さい。

ローターアクト委員会



2023-2024 年度ガバナー
谷 宗光 (和泉 RC)

【活動基本方針】

次年度、ローターアクト委員会では、温故知新！原点を勉強し、その上で、今の時代に即した、組織のあり方、運営の仕方等々を、提唱クラブさまとも意見交換を行いながら、独立したクラブとしての素地を作ります。

そして、ローターアクター自らが理解し、より楽しく奉仕活動と親睦を深められるように、基本のルールづくりにも、取り掛かっていきます。

過去を踏襲しているだけで、意識改革と行動を起こさなければ、世界各地で今も盛んに活動し、55年以上も続いているローターアクトクラブが、2640地区から消えていくでしょう。

「真面目に楽しくなければ、ローターアクトではない！」そして、心の底から「楽しいな！有意義やな！ひょっとして少くらしい社会の役に立ってる？かも！」と思える活動をしていかないと、同士も有志も集まってこないのは、「当然のこと！」と肝に銘じてローターアクター全員と提唱クラブさまにも、この危機を共に真剣に考えて頂き、一緒に打破していきたく考えます。

7月上旬～中旬年間計画の見直し。

(リーダーシップフォーラム、地区大会等々) 9月アクトの日

2025年

2月献血



幹事、IT、RLI 部門

プログラム

次年度代表幹事 豊田 泰史
次年度 RLI 委員会委員長 濱田 雅嘉
次年度 IT・ガバナー月信委員会委員長 石橋 英二

- | | | |
|-------|--|--|
| 13:20 | 開会挨拶 | 次年度代表幹事 豊田 泰史 |
| 13:30 | クラブ幹事の役割と心得
RLI 委員会の活動基本方針と活動計画について | 次年度代表幹事 豊田 泰史
次年度 RLI 委員会委員長 濱田 雅嘉
IT・ガバナー月信委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度 IT・ガバナー月信委員会委員長 石橋 英二 |
| | 報告依頼事項 | 次年度代表幹事 豊田 泰史 |
| 14:20 | 閉会挨拶 | 次年度代表幹事 豊田 泰史 |

幹事部門

クラブ幹事は、クラブの効率よいスムーズな運営をサポートします。またクラブの強みと改善点を分析して、これをクラブと地区のリーダーに伝えます。

幹事の役割

- [クラブ会員データを更新する](#)。クラブに送られる半期請求書に記載される請求額は、7月1日と1月1日の時点で国際ロータリーのデータベースに登録されている会員実数を基にして計算されます。このため、会員情報の変更は、（入退会の発生から）30日以内、もしくは遅くとも7月1日と1月1日までに行う必要があります。クラブ請求書はEメールと郵送のいずれでも受け取りが可能ですが、環境にやさしいペーパーレス化を推進するため、[Eメールのみでの受信設定に切り替えることが奨励されています](#)。
- クラブ例会、理事会会合、委員会会合の議事録を取る
- 後任の幹事とスムーズな引継ぎを行う

就任への準備

- [ラーニングセンター](#)から幹事に関するオンラインコースを受講する
- 地区・研修協議会に出席する
- 前任の幹事と協力する

リソース&参考資料

- [クラブを成功に導く リーダーシップ: 幹事編](#)
- [元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン](#)
- [標準ロータリークラブ定款](#)
- [推奨ロータリークラブ細則](#)
- [半期報告書類](#)

ツール

- [会費を支払う／会費請求書を見る](#)（国際ロータリー会費）
- [会員情報の更新](#)
- [ロータリークラブ・セントラル](#)：目標の設定と進捗が確認できるオンラインツール
- [フォーラム](#)：ロータリーのコミュニティで情報やアイデアを交換しよう

ロータリーからの支援

- 前任の幹事
- クラブと地区のリーダー
- [RI日本事務局クラブ・地区支援室](#)
- [RI経理担当職員](#)

【クラブ幹事の役割と心得】

1. 例会の重要性を認識

ロータリークラブの活動の基本として、例会を定期的に行い会員は参加するというものがあります。

例会の運営と実行はロータリー活動の基本です。1回1回の例会を大切にしてください。

2. 会員増強

かつて、第2640地区に約3,000名の会員がいた頃があったそうです。

現在は約1,500名になっています。

64クラブの内、会員数が30人以上のクラブは19クラブだけです。

10人未満のクラブは、9クラブあります。

各クラブの活性化によって、会員減少に歯止めをかけ、増強を図りましょう。

各クラブで現状の課題を把握し

- 会員維持力を高める
- 会員の満足度を高める
- 退会理由を理解する

クラブの活性化に取り組みましょう。

3. マイロータリーに登録を

RIから様々なツールがマイロータリーを通じて配信されています。

各クラブの会長・幹事だけに開示されているツールもたくさんあります。

現在の登録率は約49.33%です。ガバナーエレクトは24-25年度で登録率を88%にするという目標を掲げました。

IT委員会もバックアップします。

マイロータリーに登録しないとロータリー活動はできないぐらいに考えてください。

4. クラブ事務局との協力体制

選任の事務局を置かれているクラブもあるかと思います。

事務局と連携してRIや地区からの情報を入手してください。その取扱いについて、新幹事の皆様より熟知している部分もたくさんあります。

マイロータリーの登録の力にもなってくれるでしょう。

5. 地区委員会とのかかわり

地区組織として地区委員会があります。

各クラブにも同名の委員会があるかと思います。

実際の活動は主として各クラブが行いますが、地区委員会はその企画立案のサポートを行います。また、広域のエリアにまたがる場合は共同して活動を行います。

各クラブの委員会と地区委員会の連携のもと情報交換や研修を実施します。

6. 情報交差点として

すべての情報について幹事は知っておいてください。

会長、各委員会との意見調整、地域からの要請や依頼、姉妹クラブとの交流、周年事業など多くの情報が交錯します。

早い時点でこれらの事案に取り組んでください。

場合によれば、エレクトの段階から取り組む場合もあるかと思います。

最後に

1年間という限られた時間内で、活動の成果を出さなければならないという重責を担う皆様に敬意を表します。

健康に留意され活躍されることを祈念いたします。

R L I 委 員 会



2024-2025 年度

濱田 雅嘉 (和泉 RC)

【活動基本方針】

RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) とは、1992 年アメリカニュージャージー州 (RI 第 7510 地区) にて元 RI 理事のデビッド・リネット氏の発案で始められた研修組織です。日本では 2008 年 6 月に RLI 日本支部が結成されロータリーにおけるリーダー研修組織として発展しています。(2023-2024 年度 日本 34 地区の内 29 の地区が RLI を開催。)

RLI では参加者の皆様にディスカッションを行って頂く形式となります。一方的に講義等を聞く講習とは異なり、担当 FT (ファシリテーター) による全員参加型の研修会となります。

既にリーダーである皆様と共にロータリーにおけるリーダーとは何か? 何を求められて何をすればよいのか? 等々。

多くの事が語りあえ、ロータリーをより深く理解する最善の研修会です。

多様性が求められる現在社会で自クラブや地域の状況を客観的に観察・分析し、クラブが持つ可能性を伸ばせるリーダーとなって頂ける会員に多くの参加を呼びかけ RLI 研修会、FT 研修会を開催したいと考えています。

また、RLI では単に参加者を募るだけではなく、クラブの会長、幹事や他の会員の推薦によりクラブの将来のリーダーとして可能性を持った会員に参加させることが望ましいとされています。変革するロータリークラブや社会に対応し、ロータリーの基本的価値を共有するリーダーシップ研究会となるよう努めて参りたいと考えています。

ウイズコロナの 2024-2025 年度も RLI 研修会は皆様方の健康安全や利便性を第一にリモ-

トでの開催を予定しています。

各クラブ様におかれましては、「クラブ内より最低 1 名」将来のリーダー候補として、RLI 研修や FT 研修に参加して頂ける方の推薦を御願い致します。

【活動計画】

委員会の開催 (研修会開催時期、場所、方法等の決定)

FT 研修会の開催 3 回~5 回程度 (リアル・リモート)

RLI 研修会 Part I. II. III (リモート)

IT・ガバナー月信委員会



2024-2025 年度

石橋 英二（和歌山南 RC）

【活動基本方針】

ホームページをフルに活用してロータリー活動に必要な情報発信をするとともに、公共イメージと認知度の向上に取り組みます。

また日々進化していく IT も積極的に活用していきます。

ガバナー月信の制作においては必要な情報を吟味して掲載し、読みやすく役に立つ紙面構成に努めてまいります。

【活動計画】

1. 地区ホームページの制作、運用とサーバーの管理

ロータリー活動に必要な情報、特にガバナー及びガバナー補佐、委員会等からの情報（お知らせ、報告、行事予定等）を掲載するほか、関係資料、関係先リンク等を掲載し、活動の記録を保存していきます。

2. ガバナー月信の発行と地区ホームページへの掲載

毎月の編集会議における予定記事に基づき、ガバナー事務局と連携して情報収集に努め、読みやすく役に立つ紙面づくりを心掛け、ホームページに掲載していきます。

3. 公共イメージと認知度の向上

ホームページや SNS 他最新の IT も積極的に導入して、特に雑誌・公共イメージ委員会と連携して、一般の方々に広くロータリー活動をアピールし、「公共イメージと認知度の向上」を図ります。

4. 「マイロータリー」普及促進と活用

国際ロータリーの web サイト「マイロータリー」の普及促進、登録の推進に向け幅広く相談支援を行います。



情報規定部門

プログラム

次年度情報規定委員会委員長 岡本 浩

13:20 開会挨拶 次年度情報規定委員会委員長 岡本 浩

13:30 情報規定委員会の活動基本方針と活動計画について

規定審議会報告

報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度情報規定委員会委員長 岡本 浩

情報規定委員会



2024-2025 年度

岡本 浩（和歌山城南 RC）

【活動基本方針】

国際ロータリーの諸規定につき、各クラブの基本的理解と認識が深まるように努める。

また、決議審議会・規定審議会に提出された案についての地区としての検討を行う。

【活動計画】

(1)ロータリー章典・RI細則・クラブ定款等についての各クラブ情報規定委員会委員の研修

ロータリーの各種規定につき、各クラブの情報規定委員会委員の認識と理解を深める必要がある。このために、年度の然るべき時期に、各クラブの情報規定委員会委員に集合していただき、半日程度の研修会を企画する。

(2)決議審議会・規定審議会の件

2025年度は規定審議会開催年になるため、同審議会に提出される制定案につき、地区としての対応を、当地区選出の代表議員と共に検討するよう努める。



社会奉仕、職業奉仕 部門

プログラム

次年度地域社会奉仕委員会委員長 上野山 栄作
次年度職業奉仕委員会委員長 細川 幸三

13:20 開会挨拶 次年度地域社会奉仕委員会委員長 上野山 栄作

13:30 地域社会奉仕委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度地域社会奉仕委員会委員長 上野山 栄作
職業奉仕委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度職業奉仕委員会委員長 細川 幸三
報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度職業奉仕委員会委員長 細川 幸三

社 会 奉 仕 委 員 会



2024-2025 年度 委員長
北野 治義 (和泉南 R C)

【活動基本方針】

本年度は野村ガバナーも考えておられる、地区主催の社会奉仕事業では無く、各クラブが地域社会に即した奉仕活動を実践出来る様なヒントを与える活動をして下さい。

本年度の社会奉仕委員会は、職業奉仕委員会、地域社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、国際奉仕委員会の4つの委員会の委員長で組織構成されています。

1. 職業奉仕委員会の基本は「四つのテスト」です。職業倫理の声明とよく言われ、私達ロータリアン人生訓のように重視しロータリー活動を実践していく事を基本としている。
2. 地域社会奉仕委員会の基本は「世界を変える行動人」として、世界に、地域社会に持続可能な良い変化を生む活動を行う事を基本として活動していく。クラブでのコミュニケーションを育み、戦略計画を立案し、課題解決に向けた複数年度の取り組みも行っていく。
3. 青少年奉仕委員会の基本は、各ロータリークラブおよびロータリアンにおかれては次世代のリーダーを担う青少年に対し、教育の機会を広げ、リーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援していく事を基本に活動していく。
4. 国際奉仕委員会の基本は、戦争や自然災害等まだまだ様子を見ながら慎重に行動せざる得ない状況ですが、より良い地区の国際奉仕活動を推進していきたいと思い活動をしていきます。

【活動計画】

各委員会において、活動計画に準じた活動のフォローをしていきたいと思っております。基本方針のもと地区主催でなく、各委員会の手助けを念頭に活動していきたい。

地 域 社 会 奉 仕 委 員 会



2024-2025 年度 委員長
上野山 栄作（有田 RC）

【活動基本方針】

私たちロータリアンは「世界を変える行動人」として、世界に、地域社会に持続可能な良い変化を生む活動を行いましょう。

社会の変化に適応し、地域のニーズを満たす奉仕活動を行いましょう。従前の継続事業も含め、新しい事業にもチャレンジしましょう。チャレンジすることはクラブを強くする事にも繋がるでしょう。ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを考えましょう。クラブでのコミュニケーションを育み、戦略計画を立案し、課題解決に向けた複数年度の取り組みも必要です。

そして、地域の諸団体との協力による事業にもトライし、共にやりがいを感じて頂きたいと思います。参加者のニーズに合った奉仕事業は参加者にとって果たしがいのある責任（充実感）を生み出します。それはロータリーの楽しさとなります。地域ニーズと参加者ニーズを満たす奉仕事業が望まれます。そして、その事業を地域に帰していければ(持続可能性)さらに新たな事業にもチャレンジできます。

その為に当委員会は各クラブにおける社会奉仕のあり方をリサーチし RI 行動計画に適合した奉仕事業の実施計画を考える機会を開きたいと考えます。各クラブがやりがいある奉仕事業を行うことが出来る様、全力でサポート出来ることが私たちの委員会の使命です。

【活動計画】

1. 地区地域社会奉仕委員会の責務と役割

- ・ RI 及び地区からの地域社会奉仕に関する情報伝達
- ・ 各クラブ社会奉仕委員会の職務遂行への手助け
- ・ 災害時における地区対応計画と啓蒙
- ・ 他委員会との協調

2. 各クラブに推奨する奉仕活動

- ・ 4つの優先事項に適応する奉仕事業（ロータリーのマジック）の推奨
より大きなインパクトをもたらす（重点分野）
参加者の基盤を広げる（多様性・他団体と協力）
参加者の積極的なかかわりを促す（参加者ニーズ）
適応力を高める（革新的な）

3. 2024 - 2025 年度重点

- ・ クラブ社会奉仕委員長会議の開催
- ・ 各クラブの事業調査と奉仕事業計画の共有
- ・ 災害に対する地区対応フロー

職業奉仕委員会



2024-2025 年度

細川 幸三（御坊東 RC）

【活動基本方針】

次年度、職業奉仕委員会委員長を担当させていただきます、御坊東 RC 所属 細川幸三と申します。どうぞよろしくお願い致します。

ロータリーの目的：第 2 に職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとするものと書かれています。また、五大奉仕：第 2 部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、業務を行うことが含まれる。

そして、ロータリアンの行動規範では 1 つめに、個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。2 つめに、取引の全てにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。3 つめに、自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

最後に四つのテストです。ご存知のように職業倫理の声明とよく言われ、私達ロータリアンはこの四つのテストを人生訓のように重要視しています。

また、今年度の野村ガバナーの基本方針も「ロータリーの原点四つのテストを実践しよう」と言われています。改めて考えてください。職業奉仕とは、何かを特別に行う事ではなく、ロータリアンとしてロータリー活動を実践していくうえで欠くことのできない最も重要な事でもあり、同時にロータリアンの皆様が日々行っていることでもあると思います。

【活動計画】

・ 職業奉仕委員長会議の開催

※ラウンドテーブルにより皆様でファシリテーションを行って頂きます。

・ 職業倫理意識の向上



(社会奉仕) 青少年関連部門

プログラム

次年度青少年奉仕委員会委員長 岡本 弥生
次年度青少年交換委員会委員長 豊岡 敬
次年度インターアクト委員会委員長 坂東 剛

13:20 開会挨拶 次年度青少年奉仕委員会委員長 岡本 弥生

13:30 青少年奉仕委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度青少年奉仕委員会委員長 岡本 弥生
青少年交換委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度青少年交換委員会委員長 豊岡 敬
インターアクト委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度インターアクト委員会委員長 坂東 剛

報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度インターアクト委員会委員長 坂東 剛

青少年奉仕委員会



2024-2025 年度

岡本 弥生

(河内長野高野街道 RC)

【活動基本方針】

次世代のリーダー育成の大切さについて、大変重要であることは皆様共通認識であると存じます。特に当地区の多くのクラブは会員減少の課題に直面している旨、先般開催されました PETS における会長エレクトの皆さんからのご発表でも強く感じたところです。各ロータリークラブおよびロータリアンにおかれては次世代のリーダーを担う青少年に対し、教育の機会を広げ、リーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援して頂いていることと存じます。その経験を経た青少年のリーダーが奉仕の志を共にするロータリーの仲間となる基盤を何とか醸成していければと考えています。

RI 会長の「ロータリーのマジック」を青少年と共にしっかり形成していくことを念頭に、また野村ガバナーの方針である「四つのテスト」を確認しながら地区内各クラブ様にて実施される青少年奉仕活動のサポートを精一杯務める所存です。

青少年に「ロータリーってすごいな！」と思わせ、「こんな大人になりたい！」と憧れさせることが出来れば、奉仕の志を共にする未来の仲間を増やすことが出来る。明るい未来を青少年と共に創造して参りましょう。

【活動計画】

1. 青少年交換委員会やインターアクト委員会と連携し、地区の青少年奉仕活動のサポートを行います。
2. 地区内各クラブ様の青少年奉仕活動を奨励し、地区として可能なサポートを行ってまいります。
3. 未来は青少年の育成に掛かっていることを念頭に、青少年育成に繋がる地区委員会運営を行ってまいります。
4. 青少年奉仕に関する皆様からのご意見、ご鞭撻をお待ちいたしております。
青少年育成のためにこんなことをしてはどうかというようなご提案、
青少年育成のために我々ロータリアンはこうあるべきだというようなご意見
青少年育成に繋がることがあれば是非、下記までご寄稿ください。

メール：a-gang@outlook.jp (2024-2025 年度青少年奉仕委員会宛て)

ご寄稿の際にはクラブ名、お名前をご記載ください。

頂いたご意見を何らかの形で地区内に共有出来ればと考えています。

青少年交換委員会



2024-2025 年度

豊岡 敬 (富田林 RC)

【活動基本方針】

ロータリーの青少年交換は、若い世代の学生に海外で生活する経験を通じて、語学の習得に留まらず、健全な人材を育成することを目的にしており、小さな親善大使として海外に友人を多く作り、相互理解、文化交流を通じて、世界平和の構築に寄与していきます。コロナ禍で一時中断していた青少年交換プログラムですが、2640 地区では、2023 年 7 月に再開し、現在は 3 名の日本人学生をアメリカに派遣し、アメリカから 2 名の学生の受入れをしており、今年の 1 月からは 2 名の学生をオーストラリアから受入ています。今年の 7 月にアメリカからの 2 名は帰国し、代わりにアメリカから 3 名の受入れをします。高校生の時代に、海外での生活を体験することにより、学生達が非常に逞しく成長することを実感しています。そして、多くの青少年交換経験者が、ロータリーの青少年交換で人生が変わったと口々に言っ頂いております。我々の奉仕は次世代の人づくりであると考えています。

【活動計画】

- ① 2024-2025 年度における派遣候補生は、アメリカに 2 名、オーストラリアに 2 名派遣します。
- ② 2024-2025 年度における受入候補生は、アメリカから 3 名 (2024 年 8 月から 2025 年 7 月まで)、オーストラリアから 2 名 (2024 年 1 月から 12 月まで) です。
- ③ 2025-2026 年度の派遣候補生については、最大 4 名までとして募集し (締切り 2024 年 6 月 28 日)、選抜試験は 2024 年 7 月 21 日に英語の筆記試験、英語の面接試験、それにガバナーによる面接にて行います。派遣先は、学生の希望を踏まえて、選抜試験の結果で決まります。
- ④ 2025-2026 年度の派遣候補生は、年間 5 回程度のオリエンテーションに参加して、海外へ出発する準備をします。オリエンテーションでは、毎回英語によるスピーチをして頂きます。
- ⑤ 2024-2025 年度の受入れ学生は、年間 5 回程のオリエンテーションに参加します。毎回、日本語によるスピーチをして頂きます。2025 年 5 月頃計画している広島旅行に参加します。

インターアクト委員会



2024-2025 年度
坂東 剛 (高石 RC)

【活動基本方針】

インターアクトクラブはたくさんの可能性にあふれています。

- ・ 学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・ 異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・ 学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・ 楽しみながら、世界中に友だちをつくる

「そのために我々はどうしたら良いのか」を、考え見つめ直す。

「新たな価値観」に、漸進的に取り組む。

【活動計画】

- ・ 計画立案が大勢の関心の下で行える環境を構築する。
- ・ 新たな取り組みについて協議する。
- ・ 顧問団（各学校代表の先生方）との意思疎通を深める。
- ・ 提唱クラブの興味・関心を高め、更なる応援を求める。
- ・ 年度内に複数の合同活動を行う。

(例年)	7月	年次大会
	9月	国際交流親睦会
	11月	海外(国内)研修オリエンテーション
	12月	海外(国内)研修
	2月	海外(国内)研修報告会
	6月	新入会員歓迎会

(開催月を次年度は変更する予定)



会員増強・公共イメージ 部門

プログラム

次年度会員増強委員会委員長 末吉 亜矢
次年度雑誌・公共イメージ委員会委員長 柘植 義信

13:20 開会挨拶 次年度会員増強委員会委員長 末吉 亜矢

13:30 会員増強委員会の基本方針と活動計画について
次年度会員増強委員会委員長 末吉 亜矢
公共イメージ委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度・公共イメージ委員会委員長 柘植 義信

報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度・公共イメージ委員会委員長 柘植 義信

会 員 増 強 委 員 会



2024-2025 年度

末吉 亜矢 (和歌山南 RC)

【活動基本方針】

会員数の減少はクラブ運営の活性化と会員基盤の強化を図るためにも喫緊の課題であり、会員増強及び退会防止に対して、各クラブの不断の努力が必要です。

ロータリーの活動を通じ、会員同士のつながりを築き、地域社会の変わりゆくニーズに応えるためには、多様なリーダーの存在が必要です。会員増強を図り、より魅力的なロータリーとするために、若年会員と女性会員の増強を図ります。

【活動計画】

- ・青年会議所(JC)、商工会議所青年部(YEG)その他の青年団体等との交流を深め、若年層の会員の増強を図る。
- ・女性会員の増強のため、他団体の女性の集う会に参加し、入会を促すとともに、ロータリーの女性会員の集う会を企画し、地区内の入会候補者のリストアップ及び情報交換を行うことで、地区で連携をして会員拡大を行っていく。
- ・入会候補者向けのパンフレットを作成し、地元の各種行事に持参し、多くの人に配布できる機会を作る。ロータリーのプログラムや活動に参加することの意義についてお伝えするツールとする。
- ・各クラブは、例会の開催地、開催時間が異なるため、入会候補者が参加しやすいクラブを紹介するなど、地区全体で会員数の増強を目指す。
- ・新入会員に対し、ロータリーでの第一歩を踏みだしてもらうために、様々な機会に新会員の参加を促し、入会后、早い段階で新入会員向けのオリエンテーションを開催し、ロータリーの基礎知識を学んでいただく機会を設け、ロータリー活動への理解を深め、参加してもらいやすい環境をつくる。新入会員のアフターケアのため、メンターの配置、入会後のフォローを行う。

公共イメージ委員会



2024-2025 年度

柘植 義信 (和歌山南 RC)

【活動基本方針】

指針にあるように地域社会の人びとにロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらうには、効果的な公共イメージ戦略が重要であるとの前提に従い活動します。

とりわけ公共イメージ委員会は、ロータリーを人びとに紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促すことを目的とします。

基本的にはこれまでと同様に活動したいと考えますが、ロータリーのイメージアップをさらに図りロータリーの活動を知ってもらい地域の人に理解され、地域の人のためになることを推進して参ります。

とりわけ、それぞれの地区での活動を活発に行うことはもとより、メディア発信にも力を入れていきたいと思えます。

また地元のメディア関係者、記者等に理解を深めてもらうこと、地元の番組を通してロータリー情報の発信にも務めて参ります。

いずれにしましても、ガバナー、地区担当役職者等と相談し、活動を展開していきたいと思えますのでご指導、ご提案を重ねてお願い申し上げます。

【活動計画】

関係者と相談の上活動して参ります。

ガバナーにラジオ番組に出演してもらい理解を深めてもらうなどします。
詳細については後刻協議し実施して参ります。



国際奉仕、ロータリー財団 部門

プログラム

次年度ロータリー財団委員会委員長 谷 宗光
次年度国際奉仕委員会委員長 古谷 典子

13:20 開会挨拶 次年度ロータリー財団委員会委員長 谷 宗光

13:30 ロータリー財団委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度ロータリー財団委員会委員長 谷 宗光
国際奉仕委員会の活動基本方針と活動計画について
次年度国際奉仕委員会委員長 古谷 典子

報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度国際奉仕委員会委員長 古谷 典子

ロータリー財団委員会



2023-2024 年度ガバナー

谷 宗光 (和泉 RC)

【活動基本方針】

ロータリー財団の標語は、「世界でよいことをしよう」であり、ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすること。」です。

ロータリー財団は、ロータリアンである私たちの「寄付」を資金とし、財団プログラムへの参加によって地元及び国際社会に貢献しています。

各クラブがロータリー財団プログラムを通して、ロータリー財団を身近なものとして感じて頂き、有意義な奉仕活動に繋げて頂けるお手伝い出来るよう取り組んで参ります。

地区の目標は、以下の通りといたします。

- 年次基金寄付「0」クラブの解消
- ポリオ根絶への協力
- 恒久基金 / 大口寄付の推進
- ロータリーカードの普及、推進

<ロータリー財団への寄付目標>

- 年次基金寄付 : 一人当たり 180ドル以上
- ポリオ・プラス寄付 : 一人当たり 30ドル以上
- ポリオプラスソサエティ : 一人当たり 100ドル (上記30ドル含む)

【活動計画】

地区ロータリー財団委員会は、以下の小委員会と共に活動して参ります。

①財団資金管理・推進小委員会

補助金の管理を徹底し、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。

補助金セミナーの実施を支援するなど、クラブの参加資格認定を援助します。

地区における財団への寄付の推進と、寄付者の表彰・認証を管理します。またロータリー平和センタープログラムへの参加の管理と推進を担当します。

②財団補助金小委員会

ロータリー財団補助金の実施と、クラブが補助金を活用して、人道的・教育的・職業的活動等を実施出来るよう支援します。

③ポリオ・プラス小委員会

ポリオ根絶活動をロータリアンや地域社会の方々に広報、募金活動を企画します。

④財団監査委員会

地区ロータリー財団補助金使用を監査します。

国際奉仕委員会



2024-2025 年度

古谷 典子 (田辺 RC)

【活動基本方針】

戦争や自然災害等まだまだ様子を見ながら慎重に行動せざる得ない状況ですが、より良い地区の国際奉仕活動を推進していきたいと思い下記の活動方針を提案します。

1. 世界各国のロータリアンとの親睦を通して国際理解、親善、平和の推進を図りたいと思います。
2. 7 重点分野の奉仕活動にはロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金を積極的に活用していただけるようにロータリー財団との連携を図ります。
3. 各クラブの国際奉仕活動の情報提供や発信により RC 同士の交流をより充実させたいと思います。
4. 国際奉仕活動の計画、実施において単独クラブでは困難な場合には数クラブ合同や分区単位でのマッチングも視野に入れた支援を行います。

【活動計画】

1. 世界で必要とされる国際奉仕プロジェクトに取り組んでいただけるようにクラブ国際奉仕委員会会議を開催したいと考えています。
2. 7 重点分野に精通したロータリアンによる地区リソースネットワークを構築し、各ロータリークラブの国際奉仕プロジェクト立案、グローバル補助金申請に対する協力ができるようにしたいと考えています。



米 山 記 念 奨 学 部 門

プログラム

次年度米山記念奨学委員会委員長 三木 菊夫

13:20 開会挨拶 次年度米山記念奨学委員会委員長 三木 菊夫

13:30 米山記念奨学委員会の基本方針と活動計画について
次年度米山記念奨学委員会委員長 三木 菊夫

報告依頼事項

14:20 閉会挨拶 次年度米山記念奨学委員会委員長 三木 菊夫

米山記念奨学委員会



2024-2025 年度

三木 菊夫 (和歌山南 RC)

【活動基本方針】

【野村ガバナーエレクトが示された地区の運営方針（要約）】

①地区は、個々のロータリークラブの諸活動を支援することでロータリーの公共イメージを高めることに重点を置く。

②地区が主体となって実施する奉仕活動は必要最小限に留める。

③会員数が減少する中ロータリークラブの持続性を考慮して地区組織の簡素化、コンプライアンスの重視、ロータリアンの高潔性とクラブの品格を重視した地区運営を心掛ける。

米山記念奨学委員会（以下当委員会という）は、上記ガバナーエレクト方針に沿って当委員会の組織、事業の見直しを図りつつ、奨学生の募集、選定、世話クラブ関連の各種の事務手続は例年通り遺漏のないように粛々と進めていく事を基本方針とする。

この事業の見直しについては次の3点を指針として検討を進める。

①野村方針の「地区が主体となる事業の最小化」の観点から個々の事業を見直し、主役であるべきクラブの役割を優先することにより、地区及び地区委員会の負担軽減を図る。具体的には、今まで当委員会が担っていた事務・事業を本来担うべき世話クラブ・学友会に移行する。

②「奨学生の本分は学業である」という理解に立ち、奨学生に対する過度な負担の軽減を図る。そのために地区及び各クラブは、奨学金受給の条件とされる「ロータリー精神の理解」を奨学生に対して過度に求めないように留意する。

③当委員会は、奨学生に対する関係性において過度に保護者的な立場に立つことを控えるように留意する。米山奨学事業の神髄とされる『世話クラブ・カウンセラー制度』の趣旨から、当委員会は、奨学生の保護者的な立ち位置を世話クラブ及びカウンセラーに譲り、奨学制度の運営管理者として奨学生・世話クラブ・他のクラブ間の調整を図ることに努める。

【活動計画】

上記基本方針に基づき次の活動を行う。

なお、従来実施していた卓話及びクラブ事業への奨学生の派遣については、当委員会から奨学生を希望するクラブに直接派遣するのではなく、世話クラブから所属の奨学生を派遣していただくこととする。

①地区ガバナー目標の普通寄付 1 人当り 6,000 円、特別寄付 1 人当たり 10,000 円の達成

②寄付 0 円クラブをなくすための活動

③次年度奨学生選考に係る業務の遂行（学校説明会・奨学生面接会・選考会等）

④クラブ米山委員長会議・カウンセラー研修会の開催（9月14日）

⑤米山奨学期間終了式（旧卒業式・修了式）の実施（来年3月1日）

⑥奨学生・カウンセラーオリエンテーション、奨学生確約宣誓式（旧入学式）の開催（来年4月）

⑦学友会の運営及び活動の支援

以 上



その他委員会資料

地区戦略計画委員会

危機管理委員会

オンツー・カルガリー委員会

地区戦略計画委員会



2024-2025 年度

藤井 秀香 (岸和田東 RC)

【活動基本方針】

ロータリーの新しい戦略計画は、これまでの計画とは異なっています。新しい計画には、力強い未来を協力して築くことへの行動を促す「行動計画」が含まれています。この計画を通じて、行動人が手を取り合い、価値観を同じくする者同士がつながり、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むために活動することで何が可能となるかを、私たちが認識することができます。広げ、参加者の積極的なかかわりを促し、適応力を高めて革新的になることを目指しています。今後数年間、これらの目標を達成するための数々のイニシアチブを模索、実施していきます。この行動計画はロータリーのビジョン実現に向けた国際ロータリーと組織全体の活動を主眼としていますが、その多くはクラブと地区のレベルにも当てはまりますとステファニー RI 会長エレクトはおっしゃっています。

目的地にたどり着くために地図が必要となるように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには戦略計画が必要となります。ロータリーで実施した調査によると、戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブでは、そうしていないクラブと比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。クラブに戦略計画委員会を作り、クラブビジョンを立案し、目標を決めましょう。

*クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

- 会員からの意見を基にクラブの長所と短所を特定する。
- 地域社会のリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する。

*戦略的課題の特定

クラブで取り組みたい重要な課題や問題は何ですか。戦略的課題とは、戦略計画の立案を促すものであり、具体的な解決策や決定を必要とするものです。戦略計画においてどのような課題に取り組みたいのかを考えましょう。

会員に次のような質問を尋ねてみましょう。

- 会員を増やし、現会員の積極的な参加を促すために、何ができるでしょうか。
- 多様な人の関心を引きつけるために、何ができるでしょうか。
- 地域社会の多くの人にクラブの活動に参加してもらうために、何ができるでしょうか。

各クラブでもこの行動計画と同じ優先事項を掲げていただくことが大切となります。クラブの計画を立てる際には、これらの優先事項とその概念を考慮してください。クラブを、そして会員の体験をできる限りベストなものに近づけるにはどうすればよいか考えてください。ご自分のクラブを見直し、数値化、グラフ化をしてみてください。クラブの3～5年後を見据えて、戦略計画を立案してクラブの方向性を考えましょう。奉仕活動の見直しも必要です。「ロータリーの現状はどうか」「ロータリーはどうあるべきか」「クラブの3年5年後どうありたいのか」RLI方式で語り合ってください。

危機管理委員会



2024-2025 年度

池内 清一郎（岸和田東 RC）

【活動基本方針】

災害等における安否確認等のシステムの構築
セクハラ等の防止のための措置

【活動計画】

1. 災害等の安否確認等のシステムの構築

今年1月1日に発生した能登半島地震のように災害がいつ発生するかわかりません。地区では、これまで被害に遭われた被災地への支援等の活動を行っています。

当地区内において災害等が発生した場合における、各クラブメンバー及びご家族の安否確認や事業所の被害の内容等の把握に努め、必要な支援を早急に行えるよう備える必要があると考えています。

そこで、そのシステムの構築に取り組みたいと考えています。

2. また、セクハラ等の防止のための指針の作成にも取り組みたいと考えています。

どうかご協力よろしく申し上げます。

地区オンツー・カルガリー委員会



2024-2025 年度

堀井 明 (和歌山南RC)

【活動基本方針】

今回第 2640 地区野村壮吾ガバナーよりオンツー・カルガリー委員会委員長を拝命いたしました和歌山南ロータリークラブの堀井明でございます。2020 年度・2021 年度とバーチャル開催。2022 年度から通常開催になりましたが、コロナも収束してやっと 2024 年度シンガポール大会から安心して参加できるようになりました。今年度 2025 年度は、カナダのカルガリーで 2025 年 6 月 21 日～25 日の期間で開催されます。少し遠いですが世界のロータリアンが一同に集合します。世界中のロータリアンと親睦を図れるチャンス、世界のロータリーを感じる又とない機会です。是非とも大勢のご参加をお願い申し上げます。

【活動計画】

- ① 2024-2025 年度カナダ・カルガリー世界大会のアピール、参加要請
- ② より多くのロータリアン・ご家族の皆様が、参加していただけるように色々な情報提供、交通・宿泊施設の手配やお手伝いをし、一生の思い出に残るようにしたいと思います。
- ③ 現地で第 2640 地区ナイトの設営、運営し登録を推進します。

その他 資料

地区運営における R I 細則の重要性

国際ロータリー第 2640 地区

2017-2018 年度ガバナー

2023-2024 年度情報規定委員会

委員長 岡 本 浩

(和歌山城南ロータリークラブ)

1 地区運営と R I 細則の関係

国際ロータリーの組織は、全世界をゾーンに分類し（ちなみに日本のロータリーは、3つのゾーンに分かれています）、さらにゾーンを構成するものとして500余の地区が設けられています。当地区は、国際ロータリーの第3ゾーンに属しています。なお、日本のロータリーは、合計34の地区をもって形成されており、当地区はその中の一つとして第2640地区となっています。

地区に関する組織運営の規律は、R I 細則の第15条（地区）に定められています。また、地区の運営に当たる地区ガバナーについては

- ・ 第12条（ガバナーの指名と選挙） に、ガバナーの選出方法
- ・ 第16条（ガバナー） に、ガバナーの資格条件や任務

が規定されています。

R I 細則は、国際ロータリー本体の運営に関する規定と地区・その他の運営に関する規定とが混然一体となって構成されており、初めて見る者には理解が難しい状況となっています。

したがって、地区の運営に関する理解のためには、先ず細則の15条・12条・16条をしっかりと読み込むことが必要です。

2 各クラブの運営に関する決まり

各クラブにおいては、

クラブ定款

クラブ細則

が備えられています。各クラブ会長様におかれては、自年度の開始前に、前項に記載したR I細則の該当条文および前記の定款・細則をよく読み込んでクラブ運営に臨まれることが大切です。

3 ロータリーの組織規定

ロータリーの組織規定としては、

国際ロータリー定款

国際ロータリー細則

標準ロータリークラブ定款

の3つがあります。

上記の規定は、国際ロータリーの組織の一つである規定審議会によってのみ改正が可能とされています。したがって、国際ロータリーの規定審議会は、ロータリーの唯一の議決機関であり、ロータリーの国会に該当します。

この規定審議会を構成するのは、500余の各地区から各1名が選出される代表議員によるようになっており、代表議員はパストガバナーであることが資格要件とされています（－規定審議会に関する規定は、R I細則7条～9条となっています－）。

この規定審議会は、3年に一度の開催と定められており、次の開催は2025年度の春と予定されています。

※ 国際ロータリーの運営指針としては、さらにロータリー章典があります。

これは、過去の理事会決議等を集大成したもので、量的に膨大なものとなっています。ロータリー章典は、ロータリーの方向性を示すものとして重視されますが、あくまでベターと考えられる方向性を示すものであり、地区運営等についての義務規定と言えるものではありません（－R I定款・細則の上位に立つ規定ではありません－）。

4 ここ10年来、本地区で生起してきた問題とR I細則との関係

(1) ガバナーの選出について

ガバナーの選出方法と資格条件は、前出の通り、細則の12条・16条となっています。本地区は、2025-2026年度のガバナー選出を本年2月1日に完了したところですが、この選出につき、細則12条の010～030の定めに沿って手続が行われました。新しく会長になられる方は、細則12条の010

～030（－なお、030は、①～⑩まであります－）の条文を、今一度読み込んで、北野ガバナーノミニーの選出に至る過程と細則の流れを御理解おきください。

(2) 地区立法案検討会について

① 地区の最高意思決定機関

地区の最高意思決定機関は、地区大会開催時に開かれる「地区大会選挙人会議」となっています。かつては、地区の最高意思決定機関は、この選挙人会議のみしかありませんでした。しかしながら、これでは地区の重要な意思決定の機会が年に1回しかないこととなり、急ぐ重要課題の解決に困難が生じることとなります。そこで、規定審議会にてR I細則が改定され

2013年より、「地区決議会」が規定されました。この地区決議会は、

2019年より、「地区立法案検討会」と改称され、今日に至っています。

この「地区立法案検討会」は、R I細則の規定上、「地区大会選挙人会議」と同順位の機関とされており、これによって、地区は必要に応じ地区の最高意思決定機関を随時に開催できるようになっています。

② 地区立法案検討会の招集権者と招集義務

地区立法案検討会は、開催権者がガバナーとされています（－細則15.040.1）。

しかしながら、地区内クラブの多数意見とガバナーの意見が合致しない状況が発生した場合、クラブ側の要請に対しガバナーが地区立法案検討会を開催しないという事態が起こることがあり得ます（－当地区において、2010年頃から始まった地区の混乱につき、当時のガバナーが地区内の多数クラブの意見を聞く機会を持とうとしないという形で、この問題点が顕在化しました－）。

そこで、2019年度の規定審議会において、R I細則15.040.1に「クラブの過半数が、具体的な案件を審議することを目的に地区立法案検討会を要請した場合、ガバナーは、その要請から8週間以内に検討会を招集するものとする」

という規定を入れる改正が可決されました（－なお、この規定改正案は、当地区の提案によるものでした－）。

※ この改正規定は、単なるガバナーの努力の定めではなく、義務規定となっていることは、英文の規定上の表現より明確にされています。

③ 2022－2023 年度に発生した問題

本地区においては、R I 細則 15. 040. 1 に基づく地区立法案検討会開催請求が、同条の要件を充たす数のクラブより当該年度の森本ガバナーに提出されました。

ところが、森本ガバナーは、この要請を無視し、自年度内に地区立法案検討会を開催せず、結果として 2025－2026 年度のガバナー選出方法を地区として決定しないままとしました。

これは、本地区が提案し、規定審議会にて可決された R I 細則 15. 040. 1 の定めを、提案した本地区のガバナーが（おそらくは）世界で最初に破るという事態でした。

2023－2024 年度において、年度初めに開催された地区立法案検討会における「森本ガバナーにつき本地区として、パストガバナーとして処遇しない」との決議は、このような経過の下に成立しています。

※「地区としてパストガバナーとして処遇しない」というのは、本地区としての処遇に関する決定です。したがって、R I の元役員としての身分を奪うこととなる「パストガバナーとしての身分の剥奪」（一細則 6. 070-）とは異なるものです。したがって、本地区の上記決定をもって「R I の元役員としての身分」をも奪われたかに述べ、それを理由として自年度の地区会計報告を行わないことを主張している森本氏の立論は、細則を詳細に読み込まないままの誤論と指摘されるものと考えます。

以上、地区運営とこれに関する各クラブの対応についての R I 細則の要点を解説させていただきました。初めは難解かと思われませんが、会長任期の一年の間に、少しずつ慣れるようにしていただくことをお願いします。なお、疑問点があれば、いつでも御照会ください。



2023年8月7日

国際ロータリー第2640地区

クラブ会長、幹事各位

国際ロータリー第2640地区

2023-2024年度ガバナー 谷 宗光

7月30日開催の地区立法案検討会のご報告

2023年7月30日地区立法案検討会を開催しました。

当日の議案は、別紙「立法案検討会における議案」のとおりです。

審議の結果、いずれの議案も賛成多数で可決されました。

以上のとおり、ご報告させていただきます。

立法案検討会における議案

議案 1. 2025—2026年度ガバナー・ノミネーの選出方法として、指名委員会制度による選出とする。

議案 2. 指名委員会の職務権限および運営方法について、

- ① 指名委員会は、ガバナー・ノミネーとして最適任の候補者を探し出し、推薦するものとし、この任務を果たすため、委員会に対するクラブからのガバナー・ノミネー候補者推薦期限を明確に決定するものとする
- ② 指名委員会の委員長は、委員の互選によって定める
- ③ 指名委員会の議決は、多数決によって決するものとする。

議案 3. 指名委員会の委員の人数と構成について、

- ① 委員の人数は5名とする
- ② 構成は、次のパストガバナー5名（前年中における過年度5期のパストガバナー）をもって充てるものとする。
パストガバナー：岡本 浩 氏（2017-2018）
パストガバナー：樫畑 直尚 氏（2018-2019）
パストガバナー：中野 均 氏（2019-2020）
パストガバナー：藤井 秀香 氏（2020-2021）
パストガバナー：豊岡 敬 氏（2021-2022）

議案 4. 2025—2026年度ガバナー・ノミネー指名委員の任期は、2025—2026年度ガバナーの就任する前日（2025年6月30日）までとする。

議案 5. 国際ロータリー第2640地区は、直前ガバナーの森本芳宣氏に対し、当地区において、本決議以降、パストガバナーとして処遇しない。

2023年7月20日

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 谷 宗 光 殿
各クラブ会長・幹事 殿

選挙人 岡本 浩 (和歌山城南RC)
選挙人 豊田 泰史 (和歌山南RC)
選挙人 大平 洋和 (和歌山中RC)
選挙人 吉田 裕 (橋本RC)
選挙人 矢倉甚兵衛 (串本RC)
選挙人 脇田 裕行 (美原RC)
選挙人 大工 貞晋 (泉佐野RC)
選挙人 池内清一郎 (岸和田東RC)

立法案検討会における議案提案書

私たちは、来たる7月30日(日)に開催されます地区立法案検討会において、別紙のと通りの議案を動議として提案させていただく予定ですので、予め皆様にこれを御連絡させていただきます。

本件議案を提案する理由

今回、このような時期に2025-2026年度ガバナー・ノミネー選出方法を決めるための地区立法案検討会を開催せざるを得ない事態に至ったのは、森本芳宣直前ガバナーによるRI細則違反行為によるものであります。このため、当地区はいまだに2025-2026年ガバナー・ノミネーにつき、その選任方法すら決まらないという異常な状況にあります。

そもそも事の発端は、昨年11月5日開催の地区大会・選挙人会議において、事前にガバナー補佐・幹事会同会議で決まっていた「指名委員会制度によるガバナー・ノミネーの選出方法」の提案を、森本ガバナーが突然に、「クラブ投票制」に変更して提案し、このガバナー提案が否決されたところから始まっています。

その後、森本ガバナーは、自らが2月25日の地区内会長会議において開催を約束し、招集に至った3月21日の地区立法案検討会を、正当な理由なく突然に中止しました。この事態に対し、RI細則15.0

40.1に基づき、当地区内36クラブが地区立法案検討会の開催請求を、森本ガバナーに提出しました。ところが森本ガバナーは、これを無視する行為に出ました。そして、その後も、ガバナー発信文書としては品位と節度を欠く文章を地区外にまで拡散するなどして、当地区の信用を棄損する言動を繰り返してきました。

高い職業倫理が求められているロータリーにあって、地区のトップであるガバナーが、R I 細則に公然と違反し何ら反省の態度・対応を示さないことは、誠に恥ずかしいことです。地区として、このような細則違反に対し何の咎めもせずに漫然と放置しておくことは、コンプライアンスの観点からも許されません。当地区では、過去にもこのような有るまじき言動を行ってきたガバナー・パストガバナーがおりましたが、その都度、地区内の多くのロータリークラブがルールに則り、毅然と対処し地区の正常化を成し得てきました。

今回の事態における森本ガバナーの明白なR I 細則違反は、過去にR I から解任された当地区ガバナーや当地区においてパストガバナーとして処遇しないとされたパストガバナーの行為と比較しても、はるかにロータリー細則への違法性が高く悪質です。

イギリスの政治思想家・哲学者のエドモンド・バークの言葉に「善人の無作為こそが悪を栄えさせる」“**The only thing necessary for the triumph of evil is for good men to do nothing**”があります。明白な規定違反に対し何の対応もしないようなことは、まさに「善人の無作為」を選択することとなってしまいます。

私たちは、国際ロータリー第2640地区ロータリアンの責任において、森本ガバナーのR I 細則に反する行為を放置することにより国際ロータリーの信用を失墜させるようなことを、何としても回避しなければならぬと考えます。

以上の次第により、別紙議案を提出させていただきますので、よろしくご検討下さいますようお願い申し上げます。

2023年4月19日

国際ロータリー第2640地区

2022-2023年度ガバナー 森本 芳宣 殿

国際ロータリー第2640地区所属の
別紙記載の36クラブ

地区立法案検討会開催請求書

私共35クラブは、2022-2023年度当地区ガバナーの森本芳宣殿に対し、
「2025-2026年度ガバナーの選出方法」

を議題とする地区立法案検討会の開催を請求します。

なお、この請求は、R I 細則15.040.1に基づく請求となっています。よって、ガバナーは本請求の日より8週間以内に地区立法案検討会を開催することが義務付けされています。この次第より、R I 細則によるガバナーの義務順守として必ず履行されることを求めます。

以上の通り請求します。

地区立法案検討会開催請求クラブ

- 1 串本ロータリークラブ
- 2 田辺東ロータリークラブ
- 3 有田南ロータリークラブ
- 4 有田2000ロータリークラブ
- 5 御坊ロータリークラブ
- 6 御坊東ロータリークラブ
- 7 御坊南ロータリークラブ
- 8 海南ロータリークラブ
- 9 和歌山南ロータリークラブ
- 10 和歌山城南ロータリークラブ
- 11 和歌山中ロータリークラブ
- 12 和歌山北ロータリークラブ
- 13 和歌山ロータリークラブ
- 14 和歌山東ロータリークラブ
- 15 橋本ロータリークラブ
- 16 河内長野高野街道ロータリークラブ
- 17 松原ロータリークラブ
- 18 美原ロータリークラブ
- 19 大阪狭山ロータリークラブ
- 20 太子ロータリークラブ
- 21 泉佐野ロータリークラブ
- 22 関西国際空港ロータリークラブ
- 23 岸和田ロータリークラブ
- 24 岸和田東ロータリークラブ
- 25 岸和田南ロータリークラブ
- 26 KUMATORI 向日葵ロータリークラブ

- 27 りんくう泉佐野ロータリークラブ
- 28 和泉ロータリークラブ
- 29 和泉南ロータリークラブ
- 30 大阪金剛ロータリークラブ
- 31 堺ロータリークラブ
- 32 堺東ロータリークラブ
- 33 堺中ロータリークラブ
- 34 堺北ロータリークラブ
- 35 堺清陵ロータリークラブ
- 36 堺おおいずみロータリークラブ



2023年11月17日

国際ロータリー第2640地区
各クラブ会長・幹事様

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 谷 宗光

地区大会・選挙人会議結果のご報告

前 略

去る11月11日（土）午後3時45分から、地区大会選挙人会議が開催され、次のとおり決議されましたのでご報告申し上げます。

審議事項1

2022-2023年度地区財務報告採択の件

これについては、前年度の森本芳宣氏から未だに財務報告、決算書等がいただけず、地区資金の引渡しもいただけないという異常な状態が続いているため、今般の地区大会選挙人会議で審議いただくことが出来ませんでした。

なお、このかかる異常事態に対し、出席選挙人より下記の動議議案が提出され、議案として審議することが可決されました。この動議議案につき審議の結果、賛成51名、反対0名、保留・棄権10名により可決承認されました。

記

森本芳宣氏に対し、本年11月30日までに谷宗光ガバナーに地区資金を引き渡すよう勧告する。

審議事項2

2026-2027年度ガバナー・ノミニー選出方法採択の件

(1) 2026-2027年度ガバナー・ノミニー選出方法については、指名委員会制度によることとする。

(2) 指名委員会の職務権限並びに同委員選出については、

- ① 指名委員会は、ガバナー・ノミニーとして最適任の候補者を探し出し、推薦するものとし、この任務を果たすため、委員会に対するクラブよりのガバナー・ノミニー候補者推薦期限を明確に決定するものとする
- ② 指名委員会の委員長は、委員の互選によって定める
- ③ 指名委員会の議決は、多数決によって決するものとする。
- ④ 委員の人数を5名とする
- ⑤ 構成は、当地区内においてパストガバナーとして処遇を受けている直近の次のパストガバナー5名をもって充てるものとする。

パストガバナー岡本 浩 氏 (2017-2018)

パストガバナー檜畑 直尚 氏 (2018-2019)

パストガバナー中野 均 氏 (2019 - 2020)

パストガバナー藤井 秀香 氏 (2020-2021)

パストガバナー豊岡 敬 氏 (2021-2022)

- ⑥ 2026-2027年度ガバナー・ノミニー指名委員の任期は、2026-2027年度ガバナーの就任する前日(2026年6月30日)までとする。

審議事項3

2024-2025年度地区大会開催地・開催日の件

次年度の地区大会は、本年度と同じく大阪府泉佐野市のスターゲイトホテル関西エアポートにて開催する。

開催日は、2024年11月16日(土)、17日(日)とする。

2023年12月22日

国際ロータリー第2640地区
各クラブ会長・幹事 各位

国際ロータリー第2640地区
2023-2024年度ガバナー 谷 宗光

御 報 告

(前年度よりの地区資金引継の件)

2023年11月19日付による「地区大会・選挙人会議結果のご報告」記載の通り、過日の地区大会において、前年度ガバナーの森本芳宣氏に対し、「前年度地区資金の残金を本年11月末日までに2023-2024年度ガバナーへ引渡す」ことを勧告する旨の決議がされました。

これにつき、森本芳宣前年度ガバナーより、本報告書作成時点までに

- ・紀陽銀行東和歌山支店の通帳1通と印鑑
- ・12月4日(月)初田氏持参分現金1,366,682円

が当地区事務所へ届けられました。しかしながら、

- ・地区資金の本会計分
- ・地区大会資金分
- ・各種特別会計分

の区分は全くされておらず、したがって、上記各会計分個別の引継金の金額ならびに個別の収入・支出の内訳も全く伝えられていません。これでは、前年度の残資金を今年度のどの資金に受入れるべきなのかの判別のやりようがありません。このため、このままでは次期の野村年度の予算作成も出来ないこととなってしまいます。

この次第より、森本芳宣前年度ガバナー・初田隆生前年度代表幹事の所属クラブである和歌山北ロータリークラブに対し、この状態を是正するようクラブとしての所属クラブ員への指導責任を果たしていただくべく別紙文書を発信させていただきました。

2022-2023年度の地区資金の引継に関し、現時点の状況を以上の通り御報告させていただきます。

添 付 資 料

- 1 和歌山北ロータリークラブへの要請書

2023年12月21日

国際ロータリー第2640地区

和歌山北ロータリークラブ 会長 福田 玉 緒 様

国際ロータリー第2640地区

2023-2024年度ガバナー 谷 宗 光

要 請 書

- 1 年末を控え、貴クラブにおかれましてはクラブの各種行事に多忙の日々であるかと思われま。貴クラブが来る1月よりの年度後半に向けて、更なるクラブ行事の充実・発展に努められることを祈念させていただきます。

さて、貴クラブより輩出していただきました2022-2023年度当地区ガバナーの森本芳宣氏による地区資金の管理と2023-2024年度への引継の件につき、次項記載の通り要請させていただきます。

- 2 本要請書発信時点で、2022-2023年度の森本芳宣ガバナーおよび初田隆生代表幹事よりは、地区資金の引継として

- ・紀陽銀行の通帳1冊

- ・印鑑

- ・12月4日（月）初田氏持参分現金1,366,682円

のみが地区事務所へ届けられていますが、当該資金の区分や明細は全く説明がされていません。

しかしながら、地区資金には

- ・本会計分

- ・ 地区大会会計分
- ・ 特別会計分（退職金引当金特別会計・地区史編纂費用特別会計）

の区別があり、本会計分においては

- ・ 地区事務所費用分
- ・ その他費用分

の区分がされて管理がなされてきていることは良く知られている事実です。したがって、引継がされた資金については、少なくとも上記の区分がされて引継がなされない限り、2023-2024年度のどの該当資金に組入れるか、全く処理のやりようがありません。ひいては、このままでは、次年3月頃には確立していなければならない2024-2025年度（野村年度）の予算（案）組みが不可能となってしまいます。

森本氏・初田氏両名は、細則15.060.4を根拠とし次年6月末までに会計報告をすれば可能であるなどと、かねがねより主張されています。しかしながら上記細則はR Iとの関係での報告期限を定めたものであり、地区内での報告が次年6月末までで良いなどということを決めたものでないことは明白です。何故なら、地区内での前年度の会計報告が次年度の年度末までなされないようなこととなれば、ガバナーエレクトによる次々年度の予算組みが年度出発時点で完了し得ていない事態を招くこととなりますが、そのようなことが許されている道理がありません。

各クラブは、自クラブより地区に派遣した所属クラブ員に対し、当該クラブ員が地区での任務を適正に果たすよう指導すべき責務を負っているはずで、ついでには、貴クラブより地区へ派遣された森本芳宣氏・初田隆生氏の両氏に対し、両氏が担当した年度の地区資金につき、速やかに

- ・ 会計毎の個別の収支
- ・ 地区本資金中の地区事務所支出分

の明細を、次年1月末までに2023-2024年度ガバナーに明らかにし、もって地区資金の引継をするようクラブとして指導をされたく要請する次第です。

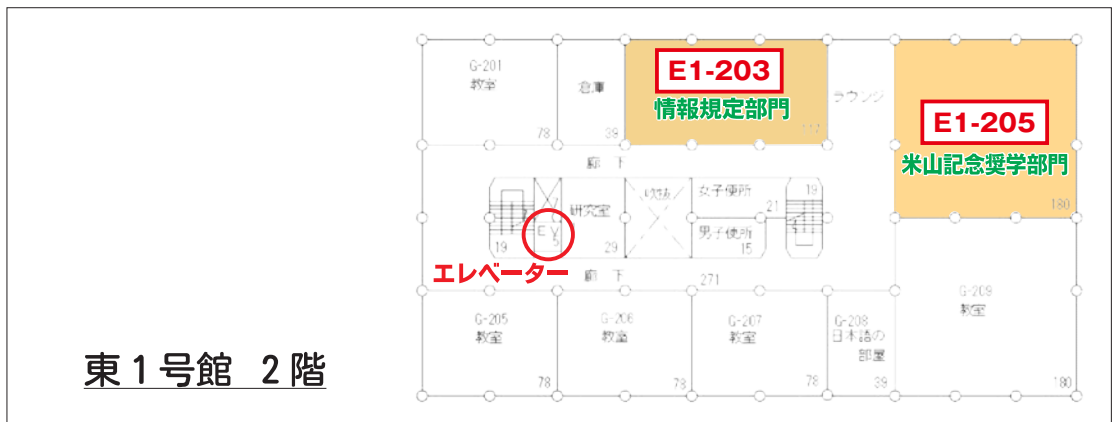
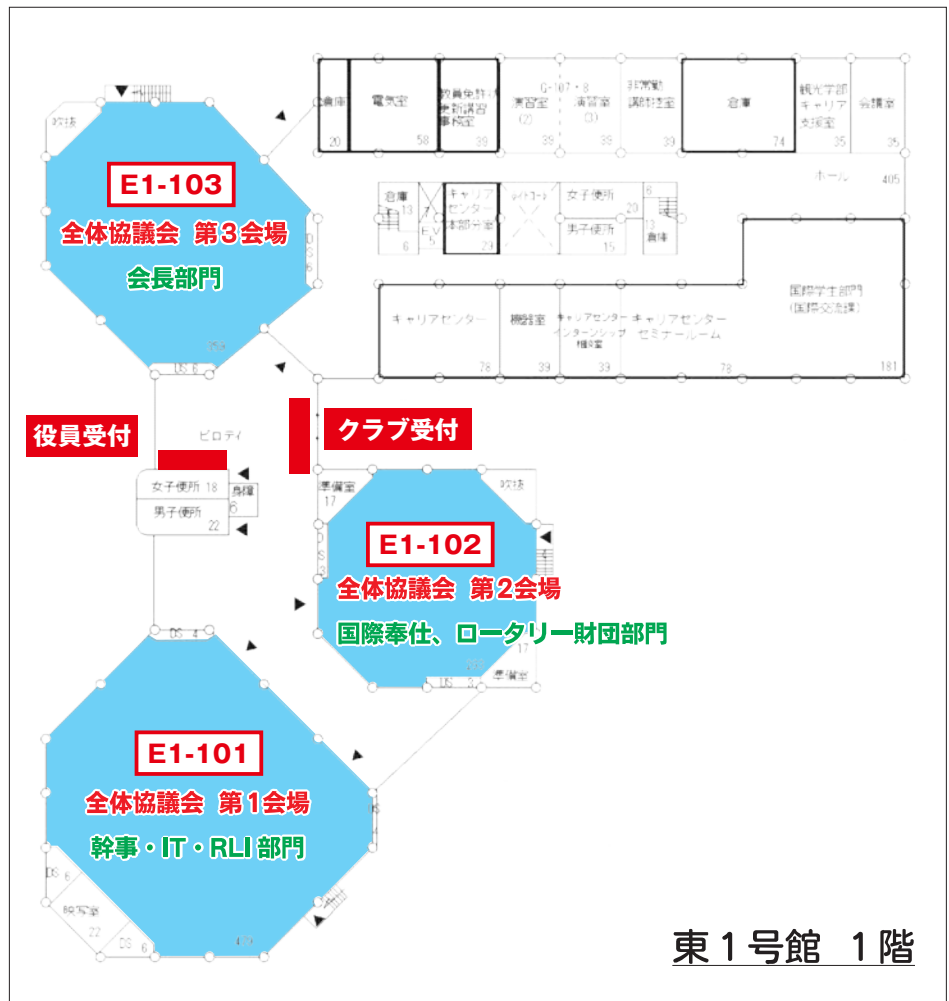
和歌山大学マップ

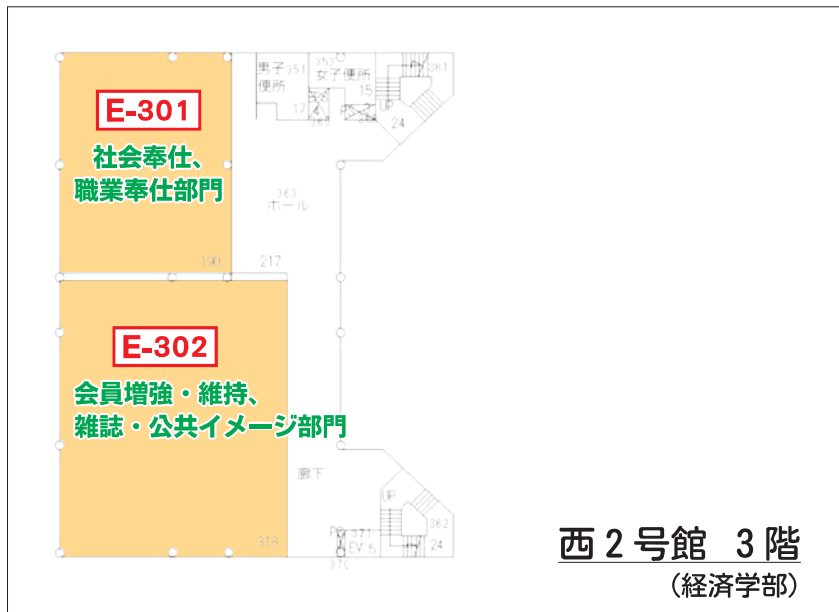
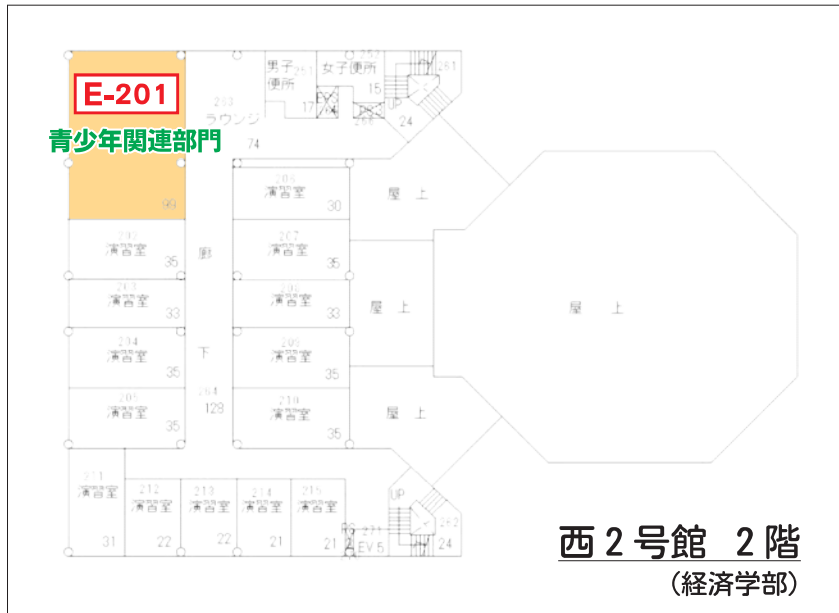
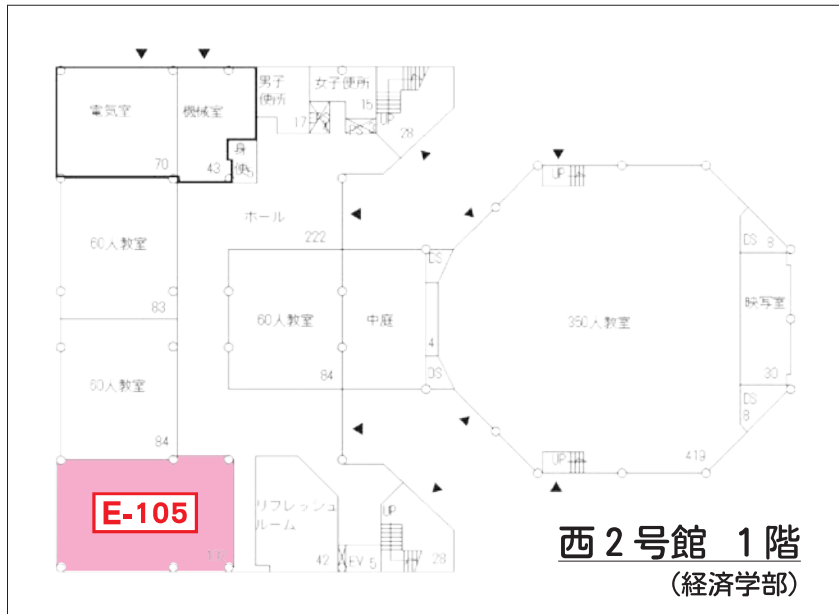
令和6年4月現在





和歌山大学 会場案内図





国際ロータリー第2640地区
2023-2024年度 ガバナー事務所



〒640-8311 和歌山市美園町3-34
けやきONE301号室

(JR和歌山駅より徒歩7分)
お車でお越しの際は周辺駐車場をご利用下さい。



TEL : 073-426-2640 FAX : 073-426-2660

E-mail : nomura@rid2640g.com